

| | | | | | | | |
|--|---|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | デジタルテクノロジー基礎 (Digital Technology Fundamentals) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 中村理佐・吉田菜々・江崎裕也 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜1限・木曜3限 |
| 【授業の学習内容】 作品作りを一から始めて、演者側だけでなくスタッフ側も体験をする。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 今まで学んできたことを活かし、一から作品作りをすることで、2年生になった時や将来の作品制作の時に注意すべき点や工夫していくべき点を知る。 オーディションやSNSでの発信の際、自己プロデュースができるようになってもらう。 これからのデジタル化において、必要性を理解してもらう。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | 資料作成①Keynoteを使用→基本操作・簡単な自己紹介制作→発表会 |
| 2回目 | 資料作成②オーディション用プロフィール作成 |
| 3回目 | Youtube①Youtubeチャンネルを作る！(Youtube Studioの使い方・動画アップ方法) |
| 4回目 | Youtube②アイコン・ホーム画像の設定→アイコン・ホーム画像の制作→設定する |
| 5回目 | 画像制作①プレビュー・Pagesを使用→既存のポスター等を真似て画像制作(写真切り抜き・色調補正) |
| 6回目 | 画像制作②プレビュー・Pagesを使用→オリジナルで制作(各SNSアスペクト比等) |
| 7回目 | GarageBand①音源編集 |
| 8回目 | Canva①基本操作 便利なサイト紹介 |
| 9回目 | Canva②ロゴ作り・名刺作り |
| 10回目 | Canva③写真加工・動画加工 |
| 11回目 | Canva④ポスター作り |
| 12回目 | Canva⑤(①～④)を駆使して、プレゼンテーション制作(自己紹介) |
| 13回目 | Canva⑥制作発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 自分の活動の場を、自分で作って行って、どんどん発信して行って欲しいです！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 MacBook.iPad.iPhone | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | デジタルテクノロジー基礎 (Digital Technology Fundamentals) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 中村理佐・吉田菜々・江崎裕也 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜1限・木曜3限 |
| 【授業の学習内容】 作品作りを一から始めて、演者側だけでなくスタッフ側も体験をする。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 今まで学んできたことを活かし、一から作品作りをすることで、2年生になった時や将来の作品制作の時に注意すべき点や工夫していくべき点を知る。 オーディションやSNSでの発信の際、自己プロデュースができるようになってもらう。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | 動画制作の準備・iMovieでの動画編集①基本操作の習得→練習用動画を使用し、メディアの追加・カット・文字入れ・色調補正等を行う |
| 2回目 | iMovieでの動画編集②3人1ペアで動画作成(どんな動画にするか・作業分担) |
| 3回目 | iMovieでの動画編集③撮影・制作 |
| 4回目 | iMovieでの動画編集④撮影・制作 |
| 5回目 | iMovieでの動画編集⑤撮影・制作 |
| 6回目 | 動画制作①クラス2チーム(役割分担) |
| 7回目 | 動画制作②準備・撮影・制作 |
| 8回目 | 動画制作③準備・撮影・制作 |
| 9回目 | 動画制作④準備・撮影・制作 |
| 10回目 | 動画制作⑤完成させる |
| 11回目 | 作品発表会 |
| 12回目 | 写真撮影会 |
| 13回目 | Canva⑥制作発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 自分の活動の場を、自分で作って行って、どんどん発信して行って欲しいです！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 MacBook.iPad.iPhone | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------------------------|
| 科目名 (英) | グローバルコミュニケーション I | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1,2 | 担当教員 | ILC |
| | (Global Communication I) | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 60 (4) | 開講区分 | 1年次前期/後期(開講時期はコースにより異なる) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 開講時期はコースにより異なる |
| 【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師1実務者経験:2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師2実務者経験:2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。 |
| 2回目 | L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。 |
| 3回目 | L. 5 & 6 好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。 |
| 4回目 | L. 8 意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。 |
| 5回目 | L. 11 & 12 人を褒める&褒められた際の会話表現。(衣服など)着ているものに関して述べる事が出来る。 |
| 6回目 | L. 7, 13, & 14 時間について表現する。日々の習慣について話す&質問できる。 |
| 7回目 | L. 19 & 20 道案内をする・場所を尋ねることが出来る。 |
| 8回目 | L. 21 & 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。 |
| 9回目 | L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーが出来るようになる。 |
| 10回目 | L. 29 & 30 過去の出来事について話す&質問できる。 |
| 11回目 | L. 32 週末や未来の予定について話す事が出来る。 |
| 12回目 | 本試験 |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | ミュージカル演習 |
| 15回目 | ミュージカル演習 |
| 準備学習 時間外学 習 | 事前に教科書を読んでおきましょう。 |
| 評価方法 | 12回目の試験にて評価を行う |
| 受講生への メッセージ | 皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1 | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----|-------------|---------------|------|--------------------|
| 科目名 (英) | グローバルコミュニケーションⅡ (Global CommunicationⅡ) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | ILC |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 180 (12) | 開講区分 | 開講時間は受講者のレベルにより異なる |
| 曜日・時限 | | | | | | | |
| 開講時間は受講者のレベルにより異なる | | | | | | | |
| 【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師1実務者経験:2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師2実務者経験:2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト(EVOLVE1.2.3)は受講者レベルにより異なる |
| 2回目 | EVOLVE UNIT 02 |
| 3回目 | EVOLVE UNIT 03 |
| 4回目 | EVOLVE UNIT 04 |
| 5回目 | EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト |
| 6回目 | EVOLVE UNIT 06 |
| 7回目 | TOEIC中間試験 |
| 8回目 | EVOLVE UNIT 07 |
| 9回目 | EVOLVE UNIT 08 |
| 10回目 | EVOLVE UNIT 09 |
| 11回目 | EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト |
| 12回目 | EVOLVE UNIT 11 |
| 13回目 | EVOLVE UNIT 12 |
| 14回目 | 試験前対策 |
| 15回目 | TOEIC期末試験 |
| 準備学習 時間外学 習 | 事前に教科書を読んでおきましょう。 |
| 評価方法 | TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業内小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20% |
| 受講生への メッセージ | 皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE1.2.3 ※受講者のレベルにより異なる | |

| | | | | | | | | |
|---|--------------------------------|----------|----|-------------|-------------|------|-------|--------|
| 科目名 (英) | 韓国語講座 I (Korean Language) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 松浦彩李 | |
| 学科・コース | プロミュージシャン科・K-POPアーティスト | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 | |
| | | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日1限目 |
| 【授業の学習内容】 文字の読み、書き、発音。挨拶をする/自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。 | | | | | | | | |
| 【到達目標】 文字を読める書ける。 簡単な挨拶が出来る。 平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる | | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | ハングルの仕組みと基本母音字 |
| 2回目 | 子音字(1)平音 |
| 3回目 | 子音字(2)激音、濃音 |
| 4回目 | 合成母音字 |
| 5回目 | パッチム (一文字パッチム、二文字パッチム) |
| 6回目 | 日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方、発音上手になるコツ、小テスト(単語の正しい表記、発音通りの表記) |
| 7回目 | 自己紹介:私は日本人です (～は、～です、～と申します、～といいます) |
| 8回目 | 趣味は何ですか? (～が、～は、～ですか) 語彙 単語 |
| 9回目 | 韓国人ではありません(～でいらしゃいますか、～ではありません) |
| 10回目 | 今、日本にいます(あります・います/ありません・いません)、こそあど言葉 |
| 11回目 | 週末には普段何をしていますか? (します、しています、～です、～ですか) |
| 12回目 | 演劇を見ます(です、ますのか)こまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌) |
| 13回目 | 何料理が好きですか(です、ますの打ち解けた丁寧語) |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 特にありません。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50% |
| 受講生への メッセージ | 前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPももっと楽しめます。。自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語 | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | 韓国語講座Ⅱ (Korean Language) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 松浦彩李 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科・K-POPアーティスト | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日1限目 |
| <p>【授業の学習内容】</p> <p>値段を尋ねる(買い物)。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。</p> | | | | | | | |
| <p>いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話ができる。韓国旅行で買い物ができる。電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。</p> | | | | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | | | |
| 1回目 | とても素敵でよかったです 用言の過去形(～した、～かった、だった)形容詞の反対語 | | | | | | |
| 2回目 | この靴いくらですか? 漢数詞いち、に、さん、,,,,、けれど～ですね | | | | | | |
| 3回目 | 夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ、,,,, | | | | | | |
| 4回目 | 運転できますか 可能、不可能の表現 | | | | | | |
| 5回目 | 食事はされましたか 敬語(現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なされた) | | | | | | |
| 6回目 | 旅行はどこへ行きますか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ | | | | | | |
| 7回目 | 映画を見たいです ～がしたい/～したがる | | | | | | |
| 8回目 | 写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止 | | | | | | |
| 9回目 | 報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりません | | | | | | |
| 10回目 | コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので | | | | | | |
| 11回目 | 何をなさいますか ～します意志や推測の表現 | | | | | | |
| 12回目 | 冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために | | | | | | |
| 13回目 | | | | | | | |
| 14回目 | 9月特別授業 | | | | | | |
| 15回目 | 9月特別授業 | | | | | | |
| 準備学習 時間外学習 | 特にありません。 | | | | | | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50% | | | | | | |
| 受講生への メッセージ | <p>文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。 これからは自分で言いたいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。</p> <p>日本語の語順とほぼ同じなので単語はたくさん覚えましょう。</p> | | | | | | |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>楽しく学べる韓国語</p> | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | 韓国語講座Ⅲ (Korean Language) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 松浦彩李 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科・K-POPアーティスト | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日2限目 |
| 【授業の学習内容】 初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | お名前は何とおっしゃいますか (インタビューする)会話 単語 表現 |
| 2回目 | 打ち解けた敬語 ~でいらっしゃいますか/条件、仮定 ~たら /意図、計画 ~しようと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する |
| 3回目 | 朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介)会話 単語 表現 |
| 4回目 | 説明、紹介 ~なので/ 以来、期間~してから/動作の順序~した後で、~する前に 1) メールを読む |
| 5回目 | 魚は焼かないでください(決まりを言う)会話 単語 表現 |
| 6回目 | 義務~しなければなりません 2)メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する |
| 7回目 | 丁寧な命令、許可、禁止~ください/~でもいいですか/~してはいけません |
| 8回目 | ファンの集いに行くことになりました(約束をする)会話 単語 表現 |
| 9回目 | 形容詞の連体形~な、~い/理由~で、~なので/決心~することになりました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する |
| 10回目 | 道を渡って左にずっと行ってください(道案内をする)会話 単語 表現 |
| 11回目 | 位置を表す語 前、後、左、右/ 手段~で/動作の順序~してから 3)メールを書く |
| 12回目 | ファンの集いに行ってみたんですけど…(感想を言う)会話 単語 表現 |
| 13回目 | 動作、存在しの現在連体形 ~している、~する~/試行、経験 ~してみました |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 特にありません。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50% |
| 受講生への メッセージ | <p>日常会話が少しずつ言えるようになります。</p> <p>KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | 韓国語講座Ⅳ (Korean Language) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 松浦彩李 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科・K-POPアーティスト | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日2限目 |
| 【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 最近のマイブームや経験したことを話すことができる。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。 体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 「朝子さんの一日」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう |
| 2回目 | 「少し安くしてください」店での買い物 依頼 |
| 3回目 | ～してみてください(勧誘/アドバイス)/～していただけますか(より丁寧な依頼) |
| 4回目 | 「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由) |
| 5回目 | ～ですね(感嘆)/～そうです、～だろうと思います(推測) |
| 6回目 | 「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう) |
| 7回目 | ～出来ない(不可能)/～時、するとき(時間、場合) |
| 8回目 | 「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方を話す) |
| 9回目 | ～する方です(傾向)/～しながら(同時、並行動作)/～するのが(事柄) |
| 10回目 | 「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法) |
| 11回目 | ～だそうです、～だったそうです(間接話法過去) |
| 12回目 | 久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す) |
| 13回目 | |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 特にありません。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50% |
| 受講生への メッセージ | 日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応出来るようになります。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 ちょこっとチャレンジ！韓国語 | |

| | | | | | | | |
|---------------|------------------------------|----------|-------|-------------|-----------|-------|-------------|
| 科目名 (英語表記) | キャリア教育 (Career Education) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 古賀 重則 中村 理佐 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 講義/演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 週1回 |

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

| | |
|---------------|---|
| 1回目 | 集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う) |
| 2回目 | サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える |
| 3回目 | 学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか? 「集団での役割」の理解と実践 |
| 4回目 | ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践 |
| 5回目 | 「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動> |
| 6回目 | グループワーク:音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する |
| 7回目 | グループワーク:音楽業界研究と自己の進路を考える ① |
| 8回目 | グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める |
| 9回目 | グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る |
| 10回目 | グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける |
| 11回目 | グループワーク:音楽業界研究と自己の進路を考える ② |
| 12回目 | グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返り |
| 13回目 | グループワーク:振り返りとこれからの目標を設定する |
| 14回目 | Hospital Of Miracle リハーサル |
| 15回目 | Hospital Of Miracle 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く |
| 評価方法 | 1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%) |

【使用教科書・教材・参考書】

| | | | | | | | |
|---|--------------------|----------|-------|-------------|-----------|-------|-------------|
| 科目名 (英語表記) | キャリア教育 | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 古賀 重則 中村 理佐 |
| | (Career Education) | 授業 形態 | 講義/演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 週1回 |
| 【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | 自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える |
| 2回目 | 自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己PR・趣味特技> |
| 3回目 | 自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野・関心事> |
| 4回目 | 自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機・立志作文> |
| 5回目 | 企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ① |
| 6回目 | 企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ② |
| 7回目 | 企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り |
| 8回目 | 社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ |
| 9回目 | 社会人準備 ② マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ) |
| 10回目 | 社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ |
| 11回目 | 「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareFSM準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ① |
| 12回目 | 「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareFSM準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ② |
| 13回目 | 卒業進級制作展 We are FSM リハーサル |
| 14回目 | 卒業進級制作展 We are FSM リハーサル |
| 15回目 | 卒業進級制作展 We are FSM 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く |
| 評価方法 | 1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%) |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------|----------|-------|-------------|-----------|-------|-------------|
| 科目名 (英語表記) | キャリア教育 | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 古賀 重則 中村 理佐 |
| | (Career Education) | 授業 形態 | 講義/演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 週1回 |
| 【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける | | | | | | | |

| 授 業 計 画 ・ 内 容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | 自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。) |
| 2回目 | 自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。) |
| 3回目 | 自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。) |
| 4回目 | ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践 |
| 5回目 | 企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ① |
| 6回目 | 企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ② |
| 7回目 | 企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り |
| 8回目 | グループワーク ① チームワークカ |
| 9回目 | グループワーク ② プレゼンテーションカ |
| 10回目 | グループワーク ③ イノベーションカ |
| 11回目 | 自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ① |
| 12回目 | 自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ② |
| 13回目 | 自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③ |
| 14回目 | Hospital Of Miracle リハーサル |
| 15回目 | Hospital Of Miracle 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く |
| 評価方法 | 1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%) |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英語表記) | キャリア教育 (Career Education) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 古賀 重則 中村理佐 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 講義/演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 週1回 |
| 【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つめるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 今期においては特に「社会人の基礎力」について再確認することをテーマとする。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 1. 社会人の基礎力の理解 | | | | | | | |

| 授 業 計 画 ・ 内 容 | |
|---|---|
| 1回目 | 新社会人の基礎カテキスト第1章「会社に入ること」① 第1章01-10 |
| 2回目 | 新社会人の基礎カテキスト第1章「会社に入ること」② 第1章11-20 |
| 3回目 | 新社会人の基礎カテキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29 |
| 4回目 | 新社会人の基礎カテキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39 |
| 5回目 | 新社会人の基礎カテキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」①第3章40-47 |
| 6回目 | 新社会人の基礎カテキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」②第3章48-58 |
| 7回目 | 新社会人の基礎カテキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67 |
| 8回目 | 新社会人の基礎カテキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74 |
| 9回目 | 新社会人の基礎カテキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86 |
| 10回目 | 新社会人の基礎カテキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95 |
| 11回目 | 新社会人の基礎カテキスト第6章「社会人として自分を守り高める」①第6章96-102 |
| 12回目 | 新社会人の基礎カテキスト第6章「社会人として自分を守り高める」②第6章103-109 |
| 13回目 | 卒業進級制作展 We are FSM リハーサル |
| 14回目 | 卒業進級制作展 We are FSM リハーサル |
| 15回目 | 卒業進級制作展 We are FSM 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. 新社会人の基礎力のテキストを復習しておく |
| 評価方法 | 1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%) |
| 【使用教科書・教材・参考書】 新社会人の基礎力のテキスト(株式会社 教育企画センター) | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-----------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスA (streets dance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | te2(小川哲由) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜3限 |
| <p>【授業の学習内容】 様々なジャンルを盛り込んだルーティン。オンビートをキープしながら3連をとるトレーニング。即興性を磨くためのバトル。テーマを持って作品を作るコンテスト形式の授業など。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】 他人と比べず自分の強みを見いだせるようになる。業界で必要とする最低限のリズム、応用力、マナーやモラルも身につける。もの作りへのプロセスを学びそこから独自性のものを0から1へと形作れるようになる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 1回目 | 別箇所同時稼働のアイソレーション |
| 2回目 | リズムキープが困難な複数リズムの合致 |
| 3回目 | ハウスをベースにした重心移動のルーティン |
| 4回目 | ヒットを念頭に置いたhiphop |
| 5回目 | フロアワークを含めたルーティン |
| 6回目 | さらに一つ踏み込んだリズムトレーニング |
| 7回目 | セッションを通して即興性を構築 |
| 8回目 | 音楽とダンスの関わり方 |
| 9回目 | 自主制作ルーティンコンテスト |
| 10回目 | 自主制作ルーティンコンテストテーマ難しめ |
| 11回目 | 指導をするためのレッスン |
| 12回目 | テスト |
| 13回目 | まとめのルーティン |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 長いようで一瞬の時間。上級クラスですので1授業にかなり濃い内容と役立つ知識を盛り込みます。容量たくさん開けてインプットモードでぶつかってきてください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-----------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスA (streets dance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | te2(小川哲由) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜3限 |
| 【授業の学習内容】 各ジャンルを紐解いたレッスンを。特にオールドスクールを充実に指導。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ロックンロールの全てのファンデーションができるようになる。ソウルダンスと呼ばれている踊りのベーシックと歴史の入り口を知る。ハウスやポップの基礎的な動きを身につける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | リズム崩し |
| 2回目 | ハウスダンスイロハ |
| 3回目 | ハウスダンスバリエーション |
| 4回目 | ポップのベーシック |
| 5回目 | ヒットとウェービング |
| 6回目 | ワックのルーティン |
| 7回目 | ワックのルーティンにヴォーグのニュアンスを取り込む |
| 8回目 | ロックダンスを根掘り葉掘り |
| 9回目 | ロックダンスをじっくりコトコト |
| 10回目 | ロックダンスをアートにするために |
| 11回目 | ソウルダンスの数々のステップ |
| 12回目 | ソウルダンスやパーティグループを使った遊び方 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | ジャンルは音楽や歴史を知ればますます楽しくなります。またそれを学んだ上で垣根を壊すことで人はそれをオリジナルスタイルと呼んでくれます。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスB (Street Dance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | Katsuki (甲木貴之) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜3限 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作、ソロパフォーマンス | | | | | | | |
| 【到達目標】 ダンスの知識や技術を使い自主制作やソロパフォーマンスが出来るようになる。また、自己プロデュースをする事が大事なので自分のダンスでの長所を見つける事が出来る様になる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | アイソレーション、リズムトレーニングベーシック |
| 2回目 | アップ、ダウンのリズムを軸にアイソレの確認 |
| 3回目 | 前後のリズム、リズムバリエーション |
| 4回目 | ブレイクダウンを使った軸の意識を確認 |
| 5回目 | 重心移動を意識したステップやムーブ |
| 6回目 | ハウス基礎 |
| 7回目 | ハウスのリズムバリエーション |
| 8回目 | ヒップホップから派生したステップ |
| 9回目 | 様々なステップのリズムバリエーション |
| 10回目 | フロアムーブのベーシック |
| 11回目 | フロアムーブの応用 |
| 12回目 | ルーティーン自主作成 |
| 13回目 | ルーティーン+ソロ |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に欠席・遅刻など) |
| 受講生への メッセージ | ヒップホップやハウスダンスのニュースクール中心のレッスンですが、オールドスクールの要素は必須な事が多くあるので柔軟に考えて取り組んでいきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスB (Street Dance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | Katsuki (甲木貴之) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜3限 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作 | | | | | | | |
| 【到達目標】 授業で得た知識や技術を使って、自身でルーティーン制作やソロパフォーマンスが出来るようになる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | ヒップホップ、オールドスクール要素を多めに |
| 2回目 | サイドウォーク、バックスライド |
| 3回目 | ボディーウェーブ、ハンドウェーブ |
| 4回目 | ルーティーン+自主作成 |
| 5回目 | ハウスダンスベーシック |
| 6回目 | ハウスダンスのステップ応用 |
| 7回目 | ハウスダンス ターンを中心に様々なステップ |
| 8回目 | ルーティーン+自主作成 |
| 9回目 | ヒップホップルーティーン |
| 10回目 | ハウスルーティーン |
| 11回目 | ルーティーン+ソロパフォーマンス |
| 12回目 | 一年間のまとめ |
| 13回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に欠席・遅刻など) |
| 受講生への メッセージ | <p>普段の授業で得た知識や技術をしっかりと身につけて、将来自分自信がプレイヤー、教える立場になった時に役に立てれるようにしよう。 流行りに敏感な業界ですが、基礎の部分は大事な自分の土台作りをしっかりとしよう。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスC (Street Dance) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1,2年 | 担当教員 | MEG |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日3限 |
| 授業の学習内容 ダンス全般に必要な基礎の土台を作る。ウォーミングアップ、リズムトレーニング、アイソレーション、筋トレ、応用、振り付け、各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていきたい。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 継続出来れば、自然なリズムが取れるようになる。多様なリズムが体が表現出来るようになる。 様々なジャンルのダンスに必要なことが身に染みて分かるようになる。 やる気、頑張り次第で体力、筋力が付く。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------------------|--|
| 1回目 | 4/12 正しい体の使い方や流れ、その他の説明(ストレッチ、筋トレ)個人チェック |
| 2回目 | 4/19 確認、アイソレーションの意識 |
| 3回目 | 4/26 アイソレーション、リズムトレーニング、出来次第で進む。(以下、WUP、リズムトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須。) |
| 4回目 | 5/10 それぞれの強化指導。出来てるかチェック。簡単なコレオ。 |
| 5回目 | 5/17 それぞれの強化指導。簡単なコレオ。 |
| 6回目 | 5/24 それぞれの強化指導。簡単なコレオ。 |
| 7回目 | 5/31 細かい指導。チェック。 |
| 8回目 | 6/14 グループに分かれて小テスト。 |
| 9回目 | 6/21 それぞれの強化指導。簡単なコレオ。 |
| 10回目 | 6/28 それぞれの強化指導。簡単なコレオ。 |
| 11回目 | 7/5 グループに分かれて構成。 |
| 12回目 | 7/12 夏の課題 |
| 13回目 | 8/23 テスト。後期に向けてのカウンセリング |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 次の授業に向けて復習。練習は必須。日々のストレッチ、筋トレの習慣はつける。=目標達成への近道です。 |
| 評価方法 | ■実技のテスト ■100/欠席、遅刻率、テスト内容の完成度、リズムアイソレ基礎力完成度、トータルダンス力。 |
| 受講生への メッセージ | ただのダンスレッスンにならない様に、これは仕事というイメージを持つことが大切です。基礎とは幅広く奥が深いです。経験者、未経験者、様々いますが出来る。出来た。で終わらず追求心を持って取り組んで欲しいです。日々の積み重ね、努力が夢への近道です。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 特になし | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ストリートダンスC (Street Dance) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1,2年 | 担当教員 | MEG |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日3限 |
| 【授業の学習内容】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていき表現できるような授業に近づけていきたい。ダンスの楽しさを感じ取る。サークルセッションやグループワーク有り。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。個人個人が踊れるようになることを目標に。グループワークでチームワーク力を高める。団結力。ソロ力強化。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------------|---|
| 1回目 | 10/4 以下WUP,リズムトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須 基礎とコレオ |
| 2回目 | 10/11 コレオ |
| 3回目 | 10/25 コレオ小テスト |
| 4回目 | 11/1 コレオ ジャンルmix、グループセッション(以下同文) |
| 5回目 | 11/8 コレオ ジャンルmix |
| 6回目 | 11/15 コレオ ジャンルmix |
| 7回目 | 11/22 コレオ ジャンルmix |
| 8回目 | 11/29 構成、グループワーク、発表 |
| 9回目 | 12/6 コレオ+フリーダンスグループワーク |
| 10回目 | 12/13 小テスト 一人ずつ |
| 11回目 | 12/20 自主コレオ課題 |
| 12回目 | 1/17 発表。集大成。 |
| 13回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 自主コレオを短くても出来るように踊れる準備をしておく。前期でした内容は必ず出来るようになっておく。 |
| 評価方法 | ■実技のテスト ■100/欠席、遅刻率、テスト内容の完成度、リズムアイソレ基礎力完成度、トータルダンス力。 |
| 受講生への メッセージ | 前期の内容は忘れないように継続してやっていきます！レベルアップしていけるように積み重ねを忘れずに授業に取り組んで欲しいです。楽しく踊りましょう！！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 特になし。 | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ダンステクニック (Dance Technique) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 鶴丸 健二 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜日・4限 |
| 【授業の学習内容】 1年間と言う限られた時間の中で、ダンステクニックをどれだけ多く習得できるかをテーマに実技をしていきます。想像力を付け、いかに見てもらう人に感動を与えられるか常に考え、スキルを磨いていくプロフェッショナルを目指していきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 練習してきたテクニックが出来るようになる。身体能力が高い踊り方が出来るようになる。プロとして率先力になれる行動を身に付ける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|--|
| 1回目 | 前期の授業内容と進行具合の説明し、ダンスに対する意識を確認する。 |
| 2回目 | 基本エクササイズ1 ストレッチのやり方、プリエ、タンジュ等を実践。 |
| 3回目 | 基本エクササイズ2 ストレッチのやり方、プリエ、タンジュ、バランス等を実践。 |
| 4回目 | 実技、基礎練習、振付。自分の弱点を見つけ、それを習得する。 |
| 5回目 | 実技、基礎練習、振付。振り付けた物をしっかり覚え、次回までに覚えて披露する。 |
| 6回目 | 実技1 クロスフロアー。クロスフロアーを実施し、ターンやジャンプを取り入れたコンビネーションをこなす。 |
| 7回目 | 実技2 クロスフロアー。フロアーへの導入の仕方を学び、コンビネーションを実施する |
| 8回目 | 実技3 振り付けされた物を躍り込む。同時にニュアンス等を入れて洗練した動きを身に付ける。 |
| 9回目 | 自己総括1 苦手な動きを取り入れ振り付けし、それを発表する。 |
| 10回目 | ディスカッション。各グループを作り、テーマを決め皆で振付、構成を作り発表する。 |
| 11回目 | フォーメーション1 フォーメーションを作り、コミュニケーションを取りながら動きを学ぶ。 |
| 12回目 | フォーメーション2 フォーメーションを作り、コミュニケーションを取りながら動きを学ぶ。 |
| 13回目 | 実技:評価。4〜6エイトの振付を覚え2〜3人づつに分け評価し自己を見つめ直す。 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | YouTube等の動画で、ストレッチの仕方や、色々なジャンルのダンスを観る。 |
| 評価方法 | ■出席率40% ■受講態度30% ■【到達目標に対する達成度】30% |
| 受講生への メッセージ | 卒業するまでに現場の率先力になれる自分作りを心がけて下さい。ダンステクニックはもちろん、ダンス以外の普通の挨拶、物事への取り組み方が仕事先への信頼へと繋がってきます。あらゆる事に真摯に向き合える人になって下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 JAZZゴアシューズ、フェイスタオル | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ダンステクニック (Dance Technique) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 鶴丸 健二 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜日・4限 |
| 【授業の学習内容】 1年間と言う限られた時間の中で、ダンステクニックをどれだけ多く習得できるかをテーマに実技をしていきます。想像力を付け、いかに見てもらう人に感動を与えられるか常に考え、スキルを磨いていくプロフェッショナルを目指していきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 練習してきたテクニックが出来るようになる。身体能力が高い踊り方が出来るようになる。プロとして率先力になれる行動を身に付ける。 ■「養う」などの具体的な出ないものはおやめください。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|--|
| 1回目 | 後期の授業内容と進行具合の説明をし、卒業するまでのやる事や意識を確認する。 |
| 2回目 | 基本エクササイズ1:クロスフロアでのテクニック強化[ターン、ステップ等) |
| 3回目 | 基本エクササイズ2:クロスフロアでのテクニック強化[ターンコンビネーション) |
| 4回目 | 実技、振付。HIPHOPのリズムを入れたコンビネーションを踊る。リズムの取り方やニュアンスを学ぶ。 |
| 5回目 | 実技、振付。HIPHOPのリズムを入れたコンビネーションを踊る。リズムの取り方やニュアンスを学ぶ。 |
| 6回目 | ディスカッション。各グループに分け、テーマを決め皆で振付、構成を作り発表する。 |
| 7回目 | 実技、振付、ディスカッション。これまでに学んできた物を取り入れ実践、更に自己向上を目指す。 |
| 8回目 | 実技、振付、ディスカッション。これまでに学んできた物を取り入れ実践、更に自己向上を目指す。 |
| 9回目 | JAZZの応用1 J-POPの曲を使いリリカルな動きを習得する。 |
| 10回目 | JAZZの応用2 J-POPの曲を使いリリカルな動きを習得する。 |
| 11回目 | 実技、応用。これまで学んできたテクニックを多く入れ躍り込む。 |
| 12回目 | 実技:評価。4~6エイトの振付を覚え2~3人づつに分け評価し自己を見つめ直す。 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | YouTube等の動画で、ストレッチの仕方や、色んなジャンルのダンスを観る。 |
| 評価方法 | ■出席率40% ■受講態度30% ■【到達目標に対する達成度】30% |
| 受講生への メッセージ | 卒業するまでに現場の率先力になれる自分作りを心がけて下さい。ダンステクニックはもちろん、ダンス以外の普段の挨拶、物事への取り組み方が仕事先への信頼へと繋がってきます。あらゆる事に真摯に向き合える人になって下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 JAZZゴアシューズ、フェイスタオル | |

| | | | | | | | |
|--|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズA (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | GEN |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜・2限 |
| 【授業の学習内容】 ジャズダンスの基本的な知識,体の使い方を学ぶ。 ストレッチ、筋トレ(腹筋まで)、基礎の順番をまず覚える | | | | | | | |
| 【到達目標】 表現に繋げるための基礎を作る | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 自己紹介、ストレッチの説明(前半)、コンビネーションによるチェック |
| 2回目 | ストレッチの説明(後半)、ストレッチ、コンビネーション |
| 3回目 | 筋トレ(腹筋)説明、ストレッチ、コンビネーション |
| 4回目 | ターンの基礎①ステップ、ストレッチ、コンビネーション |
| 5回目 | ターンの基礎②アームス、ストレッチ、コンビネーション |
| 6回目 | ターンの基礎③首、ストレッチ、コンビネーション |
| 7回目 | クロスフロアー①ステップ、ストレッチ、コンビネーション |
| 8回目 | クロスフロアー②重心、ストレッチ、コンビネーション |
| 9回目 | フロアーワーク①足回し、ストレッチ、コンビネーション |
| 10回目 | フロアーワーク②後転、ストレッチ、コンビネーション |
| 11回目 | ジャンプ①ノーマル、ストレッチ、コンビネーション |
| 12回目 | ジャンプ②ジャンプターン、ストレッチ、コンビネーション |
| 13回目 | 総合チェック |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■テストにおける実技 |
| 受講生への メッセージ | 最初は地道な作業ですが絶対的に必要なことなので頑張ってください！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---------------------------------|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズA (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | GEN |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜・2限 |
| 【授業の学習内容】 前期で学んだことを元に基礎から応用へ | | | | | | | |
| 【到達目標】 音撮りや感情を込めた表現ができるように | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1回目 | 音取り①リズム、ストレッチ、コンビネーション |
| 2回目 | 音取り②メロディー、ストレッチ、コンビネーション |
| 3回目 | リリック①リリック+リズム、ストレッチ、コンビネーション |
| 4回目 | リリック②リリック+メロディー、ストレッチ、コンビネーション |
| 5回目 | 音楽①自然音、ストレッチ、コンビネーション |
| 6回目 | 音楽②インストゥルメンタル、ストレッチ、コンビネーション |
| 7回目 | 音楽③ヴォーカル、ストレッチ、コンビネーション |
| 8回目 | 音楽④無音、ストレッチ、コンビネーション |
| 9回目 | 総合力①ソロ、ストレッチ、コンビネーション |
| 10回目 | 総合力②グループ、ストレッチ、コンビネーション |
| 11回目 | 総合力③団体、ストレッチ、コンビネーション |
| 12回目 | 総合チェック |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■テストにおける実技 |
| 受講生への メッセージ | 1年の成果をミュージカル、Weareにて発揮できますように！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズB (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | 原 淳未 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜・2限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>ジャズダンスの基本的な知識,体の使い方を学ぶ。 ジャズダンスに必要なテクニックを身につける。 基礎の応用,テクニックの苦手意識を克服,テクニックのレベルアップ。 自分の体と向き合い,しっかりと体を使った動きを身につける。 身につけたテクニックを取り入れながら,曲の中でどう表現していくかを学ぶ。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| <p>用語,体の使い方を理解し,説明できるようになる。 基礎を正しいポジションで行えるようになる。 テクニックの仕組みを理解し,説明できるようになる。 ビルエットのダブルを回れるようになり,振付の中に取り入れる事ができるようになる。 曲の中で自分を表現できるようになる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ストレッチ,ジャズダンスの基礎の確認。 |
| 2回目 | 基礎の応用。ターンの仕組み,ポジションの確認。 |
| 3回目 | ターンの応用。ステップ+ターン,ダブルへのレベルアップ。 |
| 4回目 | シェネのレベルアップ。 |
| 5回目 | ピケのレベルアップ。 |
| 6回目 | ピケ,シェネ,ロンデジャンプアテールとの連動。 |
| 7回目 | クロスフロアでの応用。ターンコンビネーションで繋ぎ方。 |
| 8回目 | ジャンプのパターン。 |
| 9回目 | フロア技のパターン。 |
| 10回目 | テクニックを取り入れた振付。曲に対してのアプローチの仕方。 |
| 11回目 | テクニックを取り入れた振付。振付での表現の仕方。 |
| 12回目 | テスト課題。(クロスフロア,振付) |
| 13回目 | テスト。 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | <p>ストレッチは習慣化する。 基礎やテクニックは必ず復習しておく。 授業を休んだ場合,前回の分は必ず誰かに聞いて練習しておく。</p> |
| 評価方法 | <p>■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】</p> |
| 受講生への メッセージ | <p>最初からできる人はいません。 1つ1つ丁寧に取り組み,テクニックを持ったダンサーを目指しましょう。 分からないことはそのままにせず,質問して下さい。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズB (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | 原 淳未 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜・2限 |
| 【授業の学習内容】 前期で習得した基礎の徹底,応用していく。 テクニックのレベルアップ。 自分の体の特性を理解し,自分に合った表現方法を学ぶ。 身につけたテクニックを曲の中でどう表現し魅せるかを考える。 自己満足のダンスではなく,人に伝えるダンスを研究していく。 個人で踊る場合と団体で踊る場合の違いを知り,集団での見せ方を学ぶ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ピルエットのダブルを確実に回れるようになる。 基礎の習慣化。 テクニックの仕組みを理解し,説明できるようになる。 テクニックをレベルアップさせ,振り付の中に取り入れる事ができるようになる。 曲の中で自分を表現できるようになる。 自分のダンスを客観視できるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | 基礎の復習。ターンの強化。 |
| 2回目 | ターンの応用。ダブル,トリプルへのレベルアップ。 |
| 3回目 | クロスフロアでの応用。コンビネーションターンでの繋ぎ方。 |
| 4回目 | クロスフロアでの応用。コンビネーションターンのバリエーションを増やす。 |
| 5回目 | ジャンプのバリエーションを増やす。 |
| 6回目 | グループ学習。構成をつけ,見せ方を学ぶ。 |
| 7回目 | 曲中での表現の仕方。細かい体の使い方を説明、 |
| 8回目 | テクニックのレベルアップ。 |
| 9回目 | 曲中でのテクニック,表現のレベルアップ。 |
| 10回目 | テスト課題。(クロスフロア,振り付) |
| 11回目 | テスト課題。(クロスフロア,振り付) |
| 12回目 | テスト。 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | ストレッチは習慣化する。 基礎やテクニックは必ず復習しておく。 授業を休んだ場合,前回の分は必ず誰かに聞いて練習しておく。 |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 出来ない事は放置せず,自分を信じて練習しましょう。 鏡の中の自分としっかり向き合って下さい。 日頃からストレッチ・基礎を行ってケガをしない体作りを心がけて下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズC (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 藤石 夏菜 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜2限目 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、筋カトレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 現時点(2022年3月)の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | オリエンテーション、ストレッチ、筋カトレーニング |
| 2回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア |
| 3回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア |
| 4回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 5回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 6回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 7回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 8回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 9回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 10回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 11回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 12回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 13回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%)授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ジャズC (Jazz) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 藤石 夏菜 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜2限目 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、筋カトレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 現時点(2022年3月)の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 2回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット |
| 3回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 4回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 5回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 6回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 7回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 8回目 | ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション |
| 9回目 | 授業内での作品制作 |
| 10回目 | 授業内での作品発表 |
| 11回目 | ミュージカル対策 |
| 12回目 | ミュージカル対策 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%)授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | バレエ基礎 (Ballet Basic) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 久保田 智子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜1限 |
| 【授業の学習内容】 基本的にはバーレसनとセンターレसन。 必要なストレッチやトレーニングを見極めて実施。 バーレसनではブリエから始まり、引き上げる上体を保ちながら可動域を広げていく。 ンターレसनでは、上半身と下半身の連動してステップを繋ぎ、発展させていく。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①美しい姿勢とまっすぐに立つこと、柔軟性向上。 ②足の運び方、筋肉の使い方を理解する。 引き上げた上で、動きと動きを繋ぎしなやかに踊る。(アダージオ、グランワルツなど) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | ウォームアップ、バーレसनをゆっくり進める、センターレसन基礎 |
| 2回目 | ウォームアップ、バーレसनをゆっくり進める、センターレसन基礎 |
| 3回目 | ウォームアップ、バーレसन基礎、リンパリング、センターレसन基礎 |
| 4回目 | ウォームアップ、バーレसन基礎、トレーニングなど、センターレसन基礎 |
| 5回目 | ウォームアップ、バーレसन、リンパリング、センターレसन |
| 6回目 | ウォームアップ、バーレसन、リンパリング、センターレसन |
| 7回目 | ウォームアップ、バーレसन、ヴァリアシオン的一部分を踊ってみる。 |
| 8回目 | ウォームアップ、バーレसन、トレーニングなど、センターレसन発展 |
| 9回目 | ウォームアップ、バーレसन、トレーニングなど、センターレसन発展 |
| 10回目 | ウォームアップ、バーレसन、トレーニングなど、センターレसन発展 |
| 11回目 | ウォームアップ、バーレसन、トレーニングなど、センターレसन発展 |
| 12回目 | ウォームアップ、バーレसन、ヴァリアシオン一部分を踊ってみる。 |
| 13回目 | ウォームアップ、バーレसन、ヴァリアシオン一部分を踊ってみる。 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業で学んだ事を自習する。 Youtubeなどを見てくに触れる機会をもつ |
| 評価方法 | 出席率 受講態度、髪型、服装 聞いた事(注意)をどれだけ身体に伝えようとしているか。 表現することを楽しんでいるか |
| 受講生への メッセージ | はじめまして！ 全ての動きの基礎となるバレエをしっかりと楽しく伝えられたらと思います。 分の身体と向き合い、しなやかに力強く動ける身体づくりをしましょう！ みにしています☺ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 バレエレसन用音源 | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | バレエ基礎 (Ballet Basic) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 久保田 智子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 【授業の学習内容】 基本的にバーレツとセンターレツスン。必要なストレッチとトレーニングを見極めて実施する。 レツスンは両手バーで確認をしながらブリエから始め、軸を保ちながら大きな動きへと発展する。 レツスンではバーレツスンで培った軸を考えながら片足で立つこと、引き上げ、発展してジャンプ、回転へと繋げる。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①基本的なバレエ用語と動きを理解する。 美しい姿勢とまっすぐに立つこと。 を作り、移動することが効率的であることを理解して踊る。(センターレツスンでのワルツ、大きなジャンプなど) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | ウォームアップ、用語を説明しながらバーレツスン基礎 |
| 2回目 | バーレツスン基礎、トレーニングなど、様子を見ながらセンターレツスン |
| 3回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、センターレツスン基礎 |
| 4回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、センターレツスン基礎 |
| 5回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、リンパリング、センターレツスン基礎 |
| 6回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、リンパリング、センターレツスン基礎 |
| 7回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、リンパリング、センターレツスン基礎 |
| 8回目 | バーレツスン基礎、易しいヴァリアシオン(一部分)を踊ってみる |
| 9回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、センターレツスン基礎 |
| 10回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、リンパリング、センターレツスン |
| 11回目 | ストレッチトレーニング、バーレツスン基礎、リンパリング、センターレツスン |
| 12回目 | バーレツスン基礎、易しいヴァリアシオン(一部分)を踊ってみる |
| 13回目 | バーレツスン基礎、易しいヴァリアシオン(一部分)を踊ってみる |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業で学んだストレッチやトレーニングを自習する。 などを見てバレエに触れる機会をつくる。 Youtube |
| 評価方法 | 出席率 受講態度、髪型、服装 聞いた事(注意)をどれだけ身体に伝えようとしているか。 |
| 受講生への メッセージ | みなさん、はじめまして！ での踊りの基礎となるクラシックバレエを楽しくしっかりと伝えられたらと思います。しなやかに強く動くための基礎づくりのバーレツ は思ったより地道な動きに感じるかもしれませんが、自分の身体と向き合う大切な時間だと思って取り組んで欲しいです。楽しみにし ています☺ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 バレエレツスン用の音源 | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------|----------|----|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 (英) | バレエ基礎 (Ballet Basic) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤瀬 佳那 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | 曜日・時限 | 木曜1限 | | |
| 【授業の学習内容】 基礎ポジション 1, 2, 4, 5番の足、アームスのアンバー、アンナバン、アンオー、アラセゴン バーレッスン(プリエ・タンジュ・ジュッテ・ロンデジャンプアテール・フォンデュ・フラッペ・アンレール・アダージョ・グランバットマン) | | | | | | | |
| 【到達目標】 バレエ基礎ポジション・足、手、顔、コンビネーションを出来るようにする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(5種) |
| 2回目 | 〃 |
| 3回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(7種) |
| 4回目 | 〃 |
| 5回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(9種) |
| 6回目 | 〃 |
| 7回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(全種) |
| 8回目 | 〃 |
| 9回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(全種),センターレッスン(ジャンプもの) |
| 10回目 | 〃 |
| 11回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(全種),センターレッスン(ジャンプもの・周りもの) |
| 12回目 | 全まとめ、復習、ラストチェック |
| 13回目 | ミュージカル劇中内作品振り渡し |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | バレエ基礎 (Ballet Basic) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤瀬 佳那 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜1限 |
| 【授業の学習内容】 前期の復習+センターをする アダージョ・タンジュ・ジュッテ・プティソテ・アレグロ・グランワルツ 周りもの(4st.5stピルエット・ピケ・シエネ・デガジェ・フェット・マネージ)など | | | | | | | |
| 【到達目標】 上記を出来るようになる。アンディオール・アンデダーン | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 前期復習 |
| 2回目 | 〃 |
| 3回目 | ストレッチ、筋トレ、パーレツス(全種)、センターレツス(4種+ジャンプもの・周りもの) |
| 4回目 | 〃 |
| 5回目 | 〃 |
| 6回目 | 〃 |
| 7回目 | ストレッチ、筋トレ、パーレツス(全種)、センターレツス(全種)シンプルコンビネーション |
| 8回目 | 〃 |
| 9回目 | 〃 |
| 10回目 | 〃 |
| 11回目 | レベルUPグレード、2年生、3年生コンビネーション |
| 12回目 | 〃 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ヴォイストレーニング (Voice Training) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 貞本正隆(MASA) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜1限 |
| 【授業の学習内容】 ヴォイストレーニング、歌唱指導。生徒の到達レベルに対して的確なトレーニング、アプローチ方法を指導していきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 基礎発声、曲のアプローチ方法を理解し、自分自身でトレーニングができる。 発声の改善、音域の拡大。自分自身のアーティスト性、強みを理解し表現パフォーマンスができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 基礎発声の理解するためのレクチャー・実際に挑戦/抜き打ち、クオリティチェック |
| 2回目 | 呼吸法、発声の矯正・自由曲歌唱(課題点の指摘)/歌唱力を向上するための自身の強み、弱みを知る |
| 3回目 | 音域拡大のためのトレーニング・自由曲(前回の課題をクリアできているかの見極め)/課題曲・1曲の完成度をマックスまで引き上げる |
| 4回目 | 課題曲の歌唱(発声・歌唱力の伸ばす)/課題② クオリティチェック |
| 5回目 | 課題曲の仕上げ(完璧に歌唱できなくとも、発声、曲練のアプローチ方法を正しく理解する)/課題③ 曲の完成 |
| 6回目 | 個々の発声チェック(トレーニング方法を再確認し間違った認識や考えは強制し、更なる技術向上を図る)/発声チェック・個々の問題点の改善 |
| 7回目 | 仮想オーディション・自由曲の歌唱/パフォーマンス・表現力の強化 |
| 8回目 | 仮想オーディション・課題曲/自由曲・パフォーマンス重視 |
| 9回目 | 自由曲・課題曲の問題点の改善。/自由曲② 問題点の改善 |
| 10回目 | 個々の発声チェック② 前回からの伸びてる部分を感じてもらい、モチベーションの向上を図る/課題曲・表現力の強化 |
| 11回目 | 歌唱+パフォーマンスの研究 第一線で活躍するアーティストから学ぶ/課題曲② 問題点の改善/質疑応答・普段行き届かない要素にアプローチ |
| 12回目 | 前期発表のための準備(しっかり詰めていくトレーニング)/自身のアーティスト性を理解し、強み弱みを理解する。 |
| 13回目 | 自由曲の発表 前期学んだことのまとめ |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 何度も同じ事を指摘されないようにしっかり意識的に鍛錬すること。課題曲、自由曲の歌唱の場合必ず練習して授業に臨むこと |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | コツコツやるくせ、習慣をつけてください。意識を高めモチベーションをさらに高めていきましょう。人と比べずに自分の成長を実感してってください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ヴォイストレーニング (Voice Training) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 貞本正隆(MASA) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜1限 |
| 【授業の学習内容】 ボイストレーニング、歌唱指導。生徒の到達レベルに対して的確なトレーニング、アプローチ方法を指導していきます。前期を経て、生徒個々の得意、不得意を理解し更なる技術向上に貢献する。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 基礎発声、曲のアプローチ方法を理解し、自分自身でトレーニングができる。 発声の改善、音域の拡大。現時点での自分の強みを理解し、ステージでパフォーマンスできる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 仮想オーディション・自由曲の歌唱 クオリティチェック/ |
| 2回目 | 表現力を高めるレクチャー(第一線アーティストから学び、取り入れていく)/卒業後の進路を考え、準備そのために必要なスキルや目標を立てる |
| 3回目 | 自由曲の歌唱・表現することにフォーカスする/自分の強みを理解し、最大限に活かすための曲選、歌唱 |
| 4回目 | 歌唱・前回の問題点の改善/前回の続き/各々の強みをさらに磨き、弱点の克服① |
| 5回目 | 課題曲・曲をコピーする耳を鍛えるトレーニング/各々の強みをさらに磨き、弱点の克服 ② |
| 6回目 | 課題曲・前回問題点の改善/各々の強みをさらに磨き、弱点の克服③ |
| 7回目 | ハモリ、コーラスワーク |
| 8回目 | デュエットor デュオ |
| 9回目 | 個々の発声チェック/中間テスト・クオリティチェック |
| 10回目 | 課題曲/卒業後の進路を考え、準備そのために必要なスキルや目標を立てる② 最終調整 |
| 11回目 | 課題曲・問題の改善/自由曲歌唱 |
| 12回目 | 課題曲の発表/テスト・クオリティチェック |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 何度も同じ事を指摘されないようにしっかり意識的に鍛錬すること。歌唱の場合必ず練習して授業に臨むこと |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | コツコツやるくせ、習慣をつけてください。意識を高めモチベーションをさらに高めていきましょう。人と比べずに自分の成長を実感してってください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|------|-------------|-------------|-------|-----------------|
| 科目名 (英) | ヴォーカルテクニック (Vocal Technique) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1・2年生 | 担当教員 | Satoru Nakagaki |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木 4・5限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分の声に向き合い、特性を見極め伸ばす力をつける。既存曲を広い範囲でインプットし、オリジナルや様々なジャンルにも対応出来るトレーニング。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】 オリジナルや様々なジャンルにも対応出来る。故障の少ない声の使い方をマスター。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 授業内容の説明。目標の再確認 |
| 2回目 | 自由曲のキー設定や曲の捉え方の練習 |
| 3回目 | 前回の自由曲を動きながら歌唱 |
| 4回目 | 1曲の仕上げ・ライブパフォーマンス練習 |
| 5回目 | 学園祭に向けての準備 |
| 6回目 | 学園祭最終リハーサル |
| 7回目 | 課題曲を使って声色(音色)作り『喜怒哀楽など』 |
| 8回目 | フェイクなどピッチ強化練習 |
| 9回目 | 【スローテンポの自由曲】ビブラートや表情付け練習 |
| 10回目 | 【アップテンポの自由曲】滑舌や体現練習 |
| 11回目 | 夏期休暇中の課題やスケジュール決め |
| 12回目 | 夏期休暇明けの成果披露 |
| 13回目 | 9月特別授業 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | ミュージカル演習 |
| 準備学習 時間外学習 | ウォーミングアップ、ストレッチ、発声練習 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など) |
| 受講生への メッセージ | 普段の生活から自分の声との向き合い、さまざまなシンガーを聞きインプットを深めましょう。 |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>コード譜、譜面、歌詞、ノート、iPad</p> | |

| | | | | | | | |
|---|------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | K-POPスタイル (K-POP Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 中村 理佐・teamMARU |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜3限 |
| 【授業の学習内容】 K-POP業界でバックダンサーやアイドルトレーニングを実施しているteamMARUのメンバーによる授業。 アーティスト・バックダンサー・振付師として必要とされるダンスの基礎トレーニングを実施。 K-POP楽曲を課題曲とし、テクニック・表現力を身につけていきます。オーディション対策やマインド強化も実施。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 アーティスト・ダンサーとして活躍するためのマインドを手に入れる。 ダンスの基礎、アイソレーション・リズムトレーニング・ウェーブ・ターンをマスターする。 細かい部分まで意識して踊り、表現力の幅を広げる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | イントロダクション～基礎トレーニング(アイソレーション・リズムトレーニング・ウェーブ・ターン) |
| 2回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲①サビ前まで |
| 3回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲①1コーラス |
| 4回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲①大サビ前まで |
| 5回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲①総仕上げ |
| 6回目 | スキルチェック、オーディション対策 |
| 7回目 | フィードバック、基礎トレーニング強化 |
| 8回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲②サビ前まで |
| 9回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲②1コーラス |
| 10回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲②大サビ前まで |
| 11回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲②総仕上げ |
| 12回目 | スキルチェック、オーディション対策 |
| 13回目 | フィードバック、基礎トレーニング強化 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|----------------|
| 科目名 (英) | K-POPスタイル (K-POP Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 中村 理佐・teamMARU |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜3限 |
| 【授業の学習内容】 K-POP業界でバックダンサーやアイドルトレーニングを実施しているteamMARUのメンバーによる授業。 アーティスト・バックダンサー・振付師として必要とされるダンスの基礎トレーニングを実施。 K-POP楽曲を課題曲とし、テクニック・表現力を身につけていきます。オーディション対策やマインド強化も実施。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 アーティスト・ダンサーとして活躍するためのマインドを手に入れる。 ダンスの基礎、アイソレーション・リズムトレーニング・ウェーブ・ターンをマスターする。 細かい部分まで意識して踊り、表現力の幅を広げる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲③サビ前まで |
| 2回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲③1コーラス |
| 3回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲③大サビ前まで |
| 4回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲③総仕上げ |
| 5回目 | スキルチェック、オーディション対策 |
| 6回目 | フィードバック、基礎トレーニング強化 |
| 7回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲④サビ前まで |
| 8回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲④1コーラス |
| 9回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲④大サビ前まで |
| 10回目 | 基礎トレーニング、筋トレ、課題曲④総仕上げ |
| 11回目 | スキルチェック、オーディション対策 |
| 12回目 | フィードバック、基礎トレーニング強化 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-----------|
| 科目名 (英) | ダンスクリエイション (Dance Creation) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | te2(小川哲由) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜4限 |
| 【授業の学習内容】 今まで培った技術と経験を持って1つの目標に向かって作り上げる。講師からの漠然的な提案を形にしていき講師と生徒の合作作品を作り上げる | | | | | | | |
| 【到達目標】 ディレクターやプロデューサーからの要望を構築できるようになる。そのための引き出し、発想のレスポンス、独自性それぞれがハイレベルな場所に到達する。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 1回目 | 曲を決める作業。展開や終わり方のイメージを持つ |
| 2回目 | カウント割りをして全体の演習構成を決める |
| 3回目 | 頭から糸で繋がるよう流れを意識しれ振付 |
| 4回目 | 振りわたし |
| 5回目 | 振り制作 |
| 6回目 | 要望に対して振り制作 |
| 7回目 | バランス調整 |
| 8回目 | 踊り込み |
| 9回目 | 踊り込みを経ての破壊と再構築 |
| 10回目 | 繋がりがや苦手なパートのブラッシュアップ |
| 11回目 | 衣装や照明の効果や説明 |
| 12回目 | まとめ |
| 13回目 | 撮影、本番 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 作品作りは多方面からの知識や発想が必要です。振りに付随する様々な要素を1つのものを作る中で学んでいきましょう！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-----------|
| 科目名 (英) | ダンスクリエイション (Dance Creation) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | te2(小川哲由) |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜4限 |
| 【授業の学習内容】 振付師の意図を理解し形にする作業。フォーメーションやカノンなどの対応力をつけるレッスンを。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 現場での対応やポジションを理解した動きができるようになる。発想の柔軟性を持てるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | 振り渡しと説明 |
| 2回目 | 振り渡し |
| 3回目 | 振り渡し |
| 4回目 | 振り渡し |
| 5回目 | 振り渡し |
| 6回目 | 振り渡し |
| 7回目 | 振り渡し |
| 8回目 | 見直しと手直し |
| 9回目 | ブラッシュアップ |
| 10回目 | 衣装合わせ |
| 11回目 | 踊り込みと場当たり |
| 12回目 | 映像としての本番 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 作品作りの醍醐味とクルー感を感じて欲しいです。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | オールドスクール (Old School) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年 | 担当教員 | MEG |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜 4限 |
| 【授業の学習内容】 Wup,ストレッチ、リズトレ、アイソレ、筋トレ、基礎練は必須になります。ロックダンス、パンキング、ソウルダンスを中心としたレッスン。このジャンル特有の動き方をレクチャーします。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 頑張り次第でオールドスクールという時代、ジャンルのダンスの、ノウハウをマスター出来る。ただし、基礎的な動き方を達成が条件です。各ジャンルの踊りを使い分ける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------------------|---|
| 1回目 | 4/12 正しい体の使い方や流れ、その他の説明(ストレッチ、筋トレ)個人スキルチェック |
| 2回目 | 4/19 リズトレ、アイソレ、基礎レクチャーと強化。 |
| 3回目 | 4/26 リズトレ、アイソレ、基礎レクチャーと強化。 |
| 4回目 | 5/10 リズトレ、アイソレ、基礎レクチャーと強化。 |
| 5回目 | 5/17 簡単なコレオ。その1。2週続く |
| 6回目 | 5/24 簡単なコレオ。 |
| 7回目 | 5/31 簡単なコレオその2。2週続く。 |
| 8回目 | 6/14 簡単なコレオ。 |
| 9回目 | 6/21 リズトレ応用、基礎応用。 |
| 10回目 | 6/28 リズトレ応用、基礎応用。 |
| 11回目 | 7/5 コレオ |
| 12回目 | 7/12 コレオ+課題 |
| 13回目 | 8/23 発表+グループセッション |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 日々継続と反復練習。色々な音楽を聴いて踊って欲しいです。体力筋力基礎力=日々の努力継続。 |
| 評価方法 | ■実技のテスト ■100/欠席、遅刻率、テスト内容の完成度、リズムアイソレ基礎力完成度、トータルダンス力。 |
| 受講生への メッセージ | 新しいジャンルに触れることも大切です。ダンスをしていく上を知ることも体験すること必要不可欠なことです。触れることにより自分の視野が広がっていくはず。諦めず日々の努力を積み重ねて行きましょう!!! |
| 【使用教科書・教材・参考書】 特になし | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | オールドスクール (Old School) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年 | 担当教員 | MEG |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜 4限 |
| 【授業の学習内容】 このジャンルに必要な体の使い方や音の取り方などレベルアップした内容にしていきたい。前期で行った内容は必須。コレオが身につくように基礎力向上。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 スキルアップ、基本動作が自然と踊れる。各ジャンルとの比較できる踊りが出来る。他のジャンルとの区別。個性磨き。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|------------------------------------|--|
| 1回目 | 10/4 前期で行った内容はそのまま継続しながらプラスしていく。(以下同文) |
| 2回目 | 10/11 コレオ2週続ける |
| 3回目 | 10/25 コレオ |
| 4回目 | 11/1 コレオその2 2週続ける。 |
| 5回目 | 11/8 構成、グループワーク |
| 6回目 | 11/15 コレオその3 2週続ける |
| 7回目 | 11/22 コレオ |
| 8回目 | 11/29 自主コレオに挑戦 3~7人で、課題曲で制作 |
| 9回目 | 12/6 躍り込み制作 |
| 10回目 | 12/13 構成や実際のショーケースをイメージして制作 |
| 11回目 | 12/20 発表OR躍り込み |
| 12回目 | 1/17 発表ORグループセッションやコレオ 1年間の集大成。 |
| 13回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 準備 |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | 頭やカラダで覚えることは1回じゃ完璧にできないので、日々の反復練習、その時に学んだ踊りや名称、理解し、詳しい説明が出来るような予習復習をしておく。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■実技のテスト ■100/欠席、遅刻率、テスト内容の完成度、リズムアイソレ基礎力完成度、トータルダンス力。 |
| 受講生への メッセージ | 個性を活かしつつ、客観的、主観的、すべてが一致するような楽しいダンスをマスターしてほしいです！ソロでも堂々と表現出来るマルチなダンサーを目指して欲しいです。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 特になし。 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | ジャズファンク (JazzFunk) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 黒岩翔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜3限 |
| 【授業の学習内容】 ダンスを通じて、社会に貢献する。職業ダンサーの育成を目的とする。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 一人一人の特性を伸ばしつつ、JAZZダンスの基礎を取り入れながら、各人の個性を伸ばすようにする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | 基礎体力・ストレッチルーティン、コンビネーション① |
| 3回目 | 基礎体力・ストレッチルーティン、コンビネーション① |
| 4回目 | 基礎体力・ストレッチルーティン、コンビネーション① |
| 5回目 | 基礎体力・ストレッチルーティン、コンビネーション② |
| 6回目 | 基礎体力・ストレッチルーティン、コンビネーション② |
| 7回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、コンビネーション③ |
| 8回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、コンビネーション③ |
| 9回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、コンビネーション③ |
| 10回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、コンビネーション④ |
| 11回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、コンビネーション④ |
| 12回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、コンビネーション④ |
| 13回目 | ストレッチルーティン、前期テスト |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | ■出席： 30 % ■授業態度： 40 % ■試験： 30 % |
| 受講生への メッセージ | 皆さんの持っているオリジナリティーを伸ばせるようなレッスンを心がけています。 一生懸命、楽しく！踊っていきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | ジャズファンク (JazzFunk) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 黒岩翔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜3限 |
| 【授業の学習内容】 JAZZダンスの基礎を身につけ、個々の独自性を発展させる。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 一人一人の特性を伸ばしつつ、JAZZダンスの応用を取り入れながら、各人の個性を伸ばすようにする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ストレッチルーティン、ピリエットワーク、コンビネーション⑤ |
| 2回目 | ストレッチルーティン、ピリエットワーク、コンビネーション⑤ |
| 3回目 | ストレッチルーティン、ピリエットワーク、コンビネーション⑤ |
| 4回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、クロスフロア、コンビネーション⑥ |
| 5回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、クロスフロア、コンビネーション⑥ |
| 6回目 | ストレッチルーティン、リズムウォーキング、クロスフロア、コンビネーション⑥ |
| 7回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、ピリエットワーク、コンビネーション⑦ |
| 8回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、ピリエットワーク、コンビネーション⑦ |
| 9回目 | ストレッチルーティン、クロスフロア、ピリエットワーク、コンビネーション⑦ |
| 10回目 | ストレッチルーティン、全行程をチェック① |
| 11回目 | ストレッチルーティン、全行程をチェック② |
| 12回目 | ストレッチルーティン、全行程をチェック③ |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | ■出席： 30 % ■授業態度： 40 % ■試験： 30 % |
| 受講生への メッセージ | 皆さんの持っているオリジナリティーを伸ばせるようなレッスンを心がけています。 一生懸命、楽しく！踊っていきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ダンスパフォーマンス (Dance Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 株式会社ビーフィック |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜3限 |
| 【授業の学習内容】 多様なジャンルを取り入れ、新たな技術に触れる切り口となり、個々の才能またはパフォーマンス力を伸ばして行く。 指導者 様々な舞台を経験し、韓国デビューを目指すUZアカデミーにて講師を行っている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 KPOPの基礎や独自のスタイル、フリースタイルなど様々なジャンルの現代の流行りを取り入れ、 個々のパフォーマンス力を身につけ向上させる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | イントロダクション～レベルチェック |
| 2回目 | 基礎トレーニング(上半身中心)、振付① |
| 3回目 | 基礎トレーニング(下半身中心)、振付② |
| 4回目 | 基礎トレーニング、振付③ |
| 5回目 | 基礎トレーニング、グループ制作、オリジナリティを考える |
| 6回目 | 基礎トレーニング、グループ発表、フィードバック |
| 7回目 | 基礎トレーニング、振付④ |
| 8回目 | 基礎トレーニング、振付⑤ |
| 9回目 | 基礎トレーニング、振付⑥ |
| 10回目 | 基礎トレーニング、グループ制作、オリジナリティを考える |
| 11回目 | 基礎トレーニング、グループ発表、フィードバック |
| 12回目 | 基礎トレーニング、前期最終振り入れ |
| 13回目 | 基礎トレーニング、作品収録 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | エンタメ市場は上昇し続けています。ダンスの基本だけでなく、ステージ上での立ち振る舞いや、オールマイティに活動の幅を個人で広げて行く力を身に付けましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ダンスパフォーマンス (Dance Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 株式会社ビーフィック |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜3限 |
| 【授業の学習内容】 多様なジャンルを取り入れ、新たな技術に触れる切り口となり、個々の才能またはパフォーマンス力を伸ばして行く。 指導者 様々な舞台を経験し、韓国デビューを目指すUZアカデミーにて講師を行っている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 KPOPの基礎や独自のスタイル、フリースタイルなど様々なジャンルの現代の流行りを取り入れ、 個々のパフォーマンス力を身につけ向上させる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 基礎トレーニング(上半身中心)、振付① |
| 2回目 | 基礎トレーニング(下半身中心)、振付② |
| 3回目 | 基礎トレーニング、振付③ |
| 4回目 | 基礎トレーニング、グループ制作、オリジナリティを考える |
| 5回目 | 基礎トレーニング、グループ発表、フィードバック |
| 6回目 | 基礎トレーニング、振付④ |
| 7回目 | 基礎トレーニング、振付⑤ |
| 8回目 | 基礎トレーニング、振付⑥ |
| 9回目 | 基礎トレーニング、グループ制作、オリジナリティを考える |
| 10回目 | 基礎トレーニング、グループ発表、フィードバック |
| 11回目 | 基礎トレーニング、前期最終振り入れ |
| 12回目 | 基礎トレーニング、作品収録 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | エンタメ市場は上昇し続けています。ダンスの基本だけでなく、ステージ上での立ち振る舞いや、オールマイティに活動の幅を個人で広げて行く力を身につけましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | テーマパークスタイル (Theme Park Style) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | 横尾めぐみ |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| クラシックバレエ、ジャズダンスの基礎、筋肉トレーニング、柔軟、表現力 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| テーマパークダンサーとしてのダンススキルが付く、オーディションに必要な表現力・対応力、オンステージでの体力、舞台人としての姿勢 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | 基礎1： 立ち姿勢 |
| 2回目 | 基礎1： 足のポディション |
| 3回目 | 基礎2： アームスのポディションの確認 |
| 4回目 | 基礎2： テーマパークのアームスの確認 |
| 5回目 | 基礎3： クラシックバレエを入れた基礎の動きの流れ |
| 6回目 | アイストレーション： 身体の各部分を動かす |
| 7回目 | 柔軟1： 正しいストレッチ、何処の筋肉が伸びて居るか意識 |
| 8回目 | 柔軟2： 怪我しにくい柔軟性な身体作り |
| 9回目 | バレードでも疲れない体力作り「筋肉トレーニング、腹筋、背筋、腕立て伏せ、」 |
| 10回目 | 体幹トレーニング、バランス感覚 |
| 11回目 | リズムステップ： リズムに合わせてステップを踏む |
| 12回目 | 一学期の復習 |
| 13回目 | テスト |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 身だしなみを気を付ける、綺麗なスタイル作り、やる気の気持ち、柔軟、筋トレ |
| 評価方法 | 実技試験:60 出席率:20 態度:20 |
| 受講生への メッセージ | 夢や希望、感動を与える素敵なテーマパークダンサーをめざして、頑張りましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | テーマパークスタイル (Theme Park Style) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | 横尾めぐみ |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| クラシックバレエ、ジャズダンスの基礎、筋肉トレーニング、柔軟、表現力 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| テーマパークダンサーとしてのダンススキルが付く、オーディションに必要な表現力・対応力、オンステージでの体力、舞台人としての姿勢 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | ターン1: 「綺麗にターンを回るには」 |
| 2回目 | ターン2: たくさんターンを回るには |
| 3回目 | ステップと合わせたターンコンビネーション |
| 4回目 | テーマパークのターンコンビネーション |
| 5回目 | ジャンプの種類を知ろう |
| 6回目 | ジャンプを高く美しく飛ぶ |
| 7回目 | オーディションに出る美しいバットマン華やかなバットマン |
| 8回目 | オーディションに出る正しいアチチュードのポディション |
| 9回目 | 表現力: 人を明るくさせる笑顔、元気を与えてくれる笑顔、表情豊かな顔 |
| 10回目 | MC: エチュードで表現力をつける |
| 11回目 | テスト |
| 12回目 | ミュージカル実習 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 身だしなみを気を付ける、綺麗なスタイル作り、やる気の気持ち、柔軟、筋トレ |
| 評価方法 | 実技試験: 60 出席率: 20 態度: 20 |
| 受講生への メッセージ | 夢や希望、感動を与える素敵なテーマパークダンサーをめざして、頑張りましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | テーマパークストリート (Theme Park Street) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | 小島俊樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディーコントロール。 ストリートダンス(フリースタイル)振り付け。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。ボディーコントロール。振り覚え能力UP | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ ① + 振り付け |
| 2回目 | アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ ② + 振り付け |
| 3回目 | アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ ③ + 振り付け |
| 4回目 | アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ ④ + 振り付け |
| 5回目 | アイソレーションとリズムを使ってボディーコントロール ① + 振り付け |
| 6回目 | アイソレーションとリズムを使ってボディーコントロール ② + 振り付け |
| 7回目 | アイソレーションとリズムを使ってボディーコントロール ③ + 振り付け |
| 8回目 | アイソレーションとリズムを使ってボディーコントロール ④ + 振り付け |
| 9回目 | ストップ、シルエット、アクセント ① + 振り付け |
| 10回目 | ストップ、シルエット、アクセント ② + 振り付け |
| 11回目 | ストップ、シルエット、アクセント ③ + 振り付け |
| 12回目 | ストップ、シルエット、アクセント ④ + 振り付け |
| 13回目 | アイソレ、リズム、ストップ、シルエット、アクセント を組み込んでボディーコントロール ① + 振り付け |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | ストリートダンスの基礎となるアイソレーション、リズムトレーニング。体幹トレーニング。振り覚えの向上。動きのコピー能力UP を目指しましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | テーマパークストリート (Theme Park Street) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1.2年 | 担当教員 | 小島俊樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディーコントロール。 ストリートダンス(フリースタイル)振り付け。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。 振り覚え、動きのコピー能力向上。 自分の長所を生かしたアピール力UP。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 1回目 | 振り付けのニュアンス。質感のコピー。① + 振り付け |
| 2回目 | 振り付けのニュアンス。質感のコピー。② + 振り付け |
| 3回目 | 振り付けのニュアンス。質感のコピー。③ + 振り付け |
| 4回目 | 振り付けのニュアンス。質感のコピー。④ + 振り付け |
| 5回目 | シルエット。アクセント。踊り方の使い分け。① + 振り付け |
| 6回目 | シルエット。アクセント。踊り方の使い分け。② + 振り付け |
| 7回目 | シルエット。アクセント。踊り方の使い分け。③ + 振り付け |
| 8回目 | シルエット。アクセント。踊り方の使い分け。④ + 振り付け |
| 9回目 | 振り付けコピー + ソロ の組み合わせ ① + 振り付け 実演 |
| 10回目 | 振り付けコピー + ソロ の組み合わせ ② + 振り付け 実演 |
| 11回目 | 振り付けコピー + ソロ の組み合わせ ③ + 振り付け 実演 |
| 12回目 | 振り付けコピー + ソロ の組み合わせ ④ + 振り付け 実演 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学習 | ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | ストリートダンスの基礎となるアイソレーション、リズムトレーニング。体幹トレーニング。 振り覚えの向上。動きのコピー能力UP を目指しましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | テーマパークバレエ (Theme Park Ballet) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 藤瀬 佳那 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜1限 |
| 【授業の学習内容】 基礎ポジション 1, 2, 4, 5番の足、アームスのアンバー、アンナバン、アンオー、アラセゴン バレレッスン(プリエ・タンジュ・ジュッテ・ロンデジャンプアテール・フォンデュ・フラッペ・アンレール・アダージョ・グランバットマン)を 正しくできるようになる。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 バレエ基礎ポジション・足、手、顔、コンビネーションを出来るようにする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(5種) |
| 2回目 | 〃 |
| 3回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(7種) |
| 4回目 | 〃 |
| 5回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(9種) |
| 6回目 | 〃 |
| 7回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(全種) |
| 8回目 | 〃 |
| 9回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(全種),センターレッスン(ジャンプもの) |
| 10回目 | 〃 |
| 11回目 | ストレッチ、筋トレ、バレレッスン(全種),センターレッスン(ジャンプもの・周りもの) |
| 12回目 | 全まとめ、復習、ラストチェック |
| 13回目 | ミュージカル劇中内作品振り渡し |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | テーマパークバレエ (Theme Park Ballet) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 藤瀬 佳那 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜1限 |
| 【授業の学習内容】 前期の復習+センターをする アダージョ・タンジュ・ジュッテ・プティソテ・アレグロ・グランワルツ 周りもの(4st.5stピルエット・ピケ・シエネ・デガジェ・フェット・マネージ)など | | | | | | | |
| 【到達目標】 上記を出来るようになる。アンディオール・アンデダーン | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 前期復習 |
| 2回目 | 〃 |
| 3回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(全種)、センターレッスン(4種+ジャンプもの・周りもの) |
| 4回目 | 〃 |
| 5回目 | 〃 |
| 6回目 | 〃 |
| 7回目 | ストレッチ、筋トレ、バーレッスン(全種)、センターレッスン(全種)シンプルコンビネーション |
| 8回目 | 〃 |
| 9回目 | 〃 |
| 10回目 | 〃 |
| 11回目 | レベルUPグレード、2年生、3年生コンビネーション |
| 12回目 | 〃 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--|----------|----|-------------|-------------|-------|-------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 石川 文代・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ヒール】ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トシなどを取り入れた一連の動きによるウォームアップの後、ターン、パーツの動きなどをステップと共に進めていくクロスフロアーを行い振付をして踊り表現して行きます。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | タップ/TAPダンスの基本姿勢、体の使い方、ウォーミングアップの習得 重心移動の習得 リズム感をつける TAPダンスの歴史 |
| 2回目 | ヒール/ウォームアップの重要性を理解し、基礎的な動きに慣れていく。 |
| 3回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシムステップの習得 |
| 4回目 | ヒール/ウォームアップの重要性を理解し、基礎的な動きに慣れていく。 |
| 5回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシムステップの習得 |
| 6回目 | ヒール/呼吸の大切さ、筋肉の使い方など身体への意識を持つ。 |
| 7回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシムステップの習得 |
| 8回目 | ヒール/ウォームアップの重要性を理解し、基礎的な動きに慣れていく。 |
| 9回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 |
| 10回目 | ヒール/リズムを身体で感じとりステップや上体の動きへと繋げていく。 |
| 11回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 ターンステップの習得 |
| 12回目 | ヒール/見せる踊り、表現の仕方への意識を持たせて評価します。 |
| 13回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 ターンステップの習得 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ヒール】集中力を持ち、自分自身に磨きをかけましょう。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ・ヒールシューズ | |

| | | | | | | | |
|--|--|----------|----|-------------|-------------|-------|-------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 石川 文代・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ヒール】ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トシなどを取り入れた一連の動きによるウォームアップの後、ターン、パーツの動きなどをステップと共に進めていくクロスフロアーを行い振付をし、表現して行きます。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 踊れる身体を作っていく、表現力、テクニックの向上を目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ヒール/パーツの動きの細かい表現の習得。 |
| 2回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの応用 フラップの習得 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 3回目 | ヒール/ターンやジャンプなどのダイナミックな表現の習得。 |
| 4回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 5回目 | ヒール/様々な曲のリズム、カウントの取り方などの習得。 |
| 6回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの応用 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 7回目 | ヒール/様々な曲のリズム、カウントの取り方などの習得。 |
| 8回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける ドローバックの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 9回目 | ヒール/曲の世界観を感じとり自己の表現へと繋げていく。 |
| 10回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける パドルの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 11回目 | ヒール/それぞれの個性を引き出し評価します。 |
| 12回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける 今まで習得したステップの復習 |
| 13回目 | ミュージカル準備 |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ヒール】集中力を持ち、自分自身に磨きをかけましょう。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ・ヒールシューズ | |

| | | | | | | | |
|--|--|----------|------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 石川 文代・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ヒール】ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トシなどを取り入れた一連の動きによるウォームアップの後、ターン、パーツの動きなどをステップと共に進めていくクロスフロアーを行い振付をして踊り表現して行きます。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ヒール/今一度ウォームアップの重要性を意識する。 |
| 2回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 タイムステップトリプルの習得 ブルバックの習得と応用 4連の習得 |
| 3回目 | ヒール/身体と呼吸への意識をしっかり持った踊りの習得。 |
| 4回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 タイムステップの応用 ブルバックの習得と応用 4連の習得 |
| 5回目 | ヒール/ 身体と呼吸への意識をしっかり持った踊りの習得。 |
| 6回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 ソフトシューの習得 ブルバックの習得と応用 4連のテンポアップ |
| 7回目 | ヒール/クロスフロアーでの様々な動き、テクニックの習得。 |
| 8回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 ソフトシューの習得 ブルバックの習得と応用 4連のテンポアップ |
| 9回目 | ヒール/美しいラインを意識した見せ方の習得。 |
| 10回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 マシガンステップの習得 ブルバックの習得と応用 アクセントの付け方 |
| 11回目 | ヒール/美しいラインを意識した見せ方の習得。 |
| 12回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 マシガンステップの習得 ブルバックの習得と応用 アクセントの付け方 |
| 13回目 | ヒール/それぞれの個性を引き出し評価します。 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ヒール】集中力を持ち、自分自身に磨きをかけましょう。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ・ヒールシューズ | |

| | | | | | | | |
|--|--|----------|------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 石川 文代・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ヒール】ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トレなどを取り入れた一連の動きによるウォームアップの後、ターン、パーツの動きなどをステップと共に進めていくクロスフロアーを行い振付をして踊り表現して行きます。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスに必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの応用 フラップの習得 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 2回目 | ヒール/身体表現に必要な細かいパーツの動きの習得。 |
| 3回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 4回目 | ヒール/様々な曲の世界観を自分自身の感性で表現していく。 |
| 5回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの応用 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 6回目 | ヒール/様々な曲の世界観を自分自身の感性で表現していく。 |
| 7回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける ドローボックスの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 8回目 | ヒール/こちらの求めるものを正確に表現していく。 |
| 9回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける バドルの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 10回目 | ヒール/オーデション形式で進めていく。 |
| 11回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける 今まで習得したステップの復習 |
| 12回目 | ヒール/2年間の集大成を評価します。 |
| 13回目 | ミュージカル準備 |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ヒール】集中力を持ち、自分自身に磨きをかけましょう。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ・ヒールシューズ | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 玉井慶輔・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ポップ】POPというジャンルの特殊な動き、スキル、カルチャーやリズムダンスの基礎力の強化。それらを使った振付を授業として伝えます。数個の動きに絞って深く。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | タップ/TAPダンスの基本姿勢、体の使い方、ウォーミングアップの習得 重心移動の習得 リズム感をつける TAPダンスの歴史 |
| 2回目 | ポップ/基礎力チェック、HIT、体重移動 振付 |
| 3回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシャムステップの習得 |
| 4回目 | ポップ/基礎、HIT、ウェーブ、振付 |
| 5回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシャムステップの習得 |
| 6回目 | ポップ/基礎、HIT、ウェーブ、ウォーク、振付 |
| 7回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 基本ステップの習得 リズム感をつける シムシャムステップの習得 |
| 8回目 | ポップ/基礎、TUT、考察、振付 |
| 9回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 |
| 10回目 | ポップ/基礎、振付、ステップバリエーション |
| 11回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 ターンステップの習得 |
| 12回目 | ポップ/テスト |
| 13回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 重心移動の習得 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの習得 フラップの習得 ターンステップの習得 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ポップ】特殊なジャンルですが、ゆっくり自分の物にしていきましょう。多くの動きというよりは1つの動きの理解度、応用を深めていけたらと思います。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 玉井慶輔・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ポップ】POPというジャンルの特殊な動き、スキル、カルチャーやリズムダンスの基礎力の強化。それらを使った振付を授業として伝えます。数個の動きに絞って深く。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ポップ/復習、基礎、カルチャー講義 |
| 2回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの応用 フラップの習得 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 3回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付 |
| 4回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 5回目 | ポップ/基礎、振付制作 |
| 6回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの応用 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 7回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付 |
| 8回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける ドローバックの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 9回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付長め |
| 10回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける パドルの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 11回目 | ポップ/テスト、考え方 |
| 12回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける 今まで習得したステップの復習 |
| 13回目 | ミュージカル準備 |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ポップ】特殊なジャンルですが、ゆっくり自分の物にしていきましょう。多くの動きというよりは1つの動きの理解度、応用を深めていけたらと思います。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|------|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Business Dance Style) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 玉井慶輔・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ポップ】POPというジャンルの特殊な動き、スキル、カルチャーやリズムダンスの基礎力の強化。それらを使った振付を授業として伝えます。数個の動きに絞って深く。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ポップ/理解度チェック、基礎、HIT、ウェーブ、振付 |
| 2回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 タイムステップトリプルの習得 ブルバックの習得と応用 4連の習得 |
| 3回目 | ポップ/基礎、ウェーブ、振付、ツイスト |
| 4回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 タイムステップの応用 ブルバックの習得と応用 4連の習得 |
| 5回目 | ポップ/基礎、ウェーブ、ポージング、考え方、振付 |
| 6回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 ソフトシューの習得 ブルバックの習得と応用 4連のテンポアップ |
| 7回目 | ポップ/基礎、TUT、考察、振付 |
| 8回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 ソフトシューの習得 ブルバックの習得と応用 4連のテンポアップ |
| 9回目 | ポップ/基礎、振付長め、ステップバリエーション |
| 10回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 マシンガンステップの習得 ブルバックの習得と応用 アクセントの付け方 |
| 11回目 | ポップ/基礎、振付考察、STOPモーション、考え方 |
| 12回目 | タップ/ウォーミングアップのテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける フラップの応用 マシンガンステップの習得 ブルバックの習得と応用 アクセントの付け方 |
| 13回目 | ポップ/テスト、カルチャー講義 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ポップ】特殊なジャンルですが、ゆっくり自分の物にしていきましょう。多くの動きというよりは1つの動きの理解度、応用を深めていけたらと思います。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|------|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ショービジネスダンススタイル (Show Bussiness Dance Style) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2年 | 担当教員 | 玉井慶輔・楽満 信幸 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>【タップ】TAPダンスもいろんなジャンルがありますが、どの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。他のジャンルのダンスに活かせるよう、確かなリズム感を身につける。TAPダンスで自らの表現ができるようになる。TAPダンスの習得過程は、体力、忍耐力を特に要するため、自分自身に強い精神力が身につく。</p> <p>【ポップ】POPというジャンルの特殊な動き、スキル、カルチャーやリズムダンスの基礎力の強化。それらを使った振付を授業として伝えます。数個の動きに絞って深く。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| 心と身体の軸を作り、基礎的な動き、リズムの習得。ショービジネスで必要な見せ方への意識を持つことを目標とする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける タイムステップの応用 フラップの習得 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 2回目 | ポップ/基礎、TUT、振付長め |
| 3回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 4回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付制作 |
| 5回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける クランプロールの応用 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 6回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付 |
| 7回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける ドローボックスの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 8回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付長め、考え方 |
| 9回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける パドルの習得 フラップの応用 ターンステップの応用 プルバックの習得 |
| 10回目 | ポップ/基礎、ステップバリエーション、振付 |
| 11回目 | タップ/ウォーミングアップの習得とテンポアップ 実践に向けての基本ステップ リズム感をつける 今まで習得したステップの復習 |
| 12回目 | ポップ/テスト |
| 13回目 | ミュージカル準備 |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 毎回の授業内容を復習しておくこと。 |
| 評価方法 | 実技 70% 受講態度 出席率 30% |
| 受講生への メッセージ | <p>【タップ】TAPダンスは他のダンスと違って、特殊な側面を持っているので、身につけば確実にアドバンテージになるので、忍耐強くマイペースで基礎を積み重ねて上達して行って欲しいです。練習した時間は裏切らないので、とにかく反復練習をしましょう。自分が楽器になって表現できる楽しさを知って欲しいです。</p> <p>【ポップ】特殊なジャンルですが、ゆっくり自分の物にしていきましょう。多くの動きというよりは1つの動きの理解度、応用を深めていけたらと思います。</p> |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| タップシューズ | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------------|
| 科目名 (英) | ヒップホップ (HipHop) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | momoca renri |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜3限 |
| <p>【授業の学習内容】 ダンスの基礎を徹底的に身につけていきます。</p> <p>【講師】2011年から渡米。トップコレオグラファー達のもとでトレーニングを重ね、アメリカ国内で様々なショーやMVに出演。帰国後は国内アーティストのツアーバックダンサー、MV出演、インストラクター、バトル、ショーケース、など多方面でマルチに活躍。海外や日本のメジャー&アンダーグラウンド両方のダンスシーンの中で磨かれた自由な表現力から生み出されるダンススタイルで唯一無二の存在感を放っている。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】 アーティスト・ダンサーとして活躍するためのマインドを手に入れる。 ダンスの基礎をマスターする。 1つ1つの動きを正確に大きく踊れるようになる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--------------------------|
| 1回目 | イントロダクション～基礎トレーニング、振付①前半 |
| 2回目 | 基礎トレーニング、振付①後半 |
| 3回目 | 基礎トレーニング、振付②前半 |
| 4回目 | 基礎トレーニング、振付②後半 |
| 5回目 | 基礎トレーニング、振付③前半 |
| 6回目 | 基礎トレーニング、振付③後半 |
| 7回目 | スキルチェック～フィードバック |
| 8回目 | 基礎トレーニング、振付④前半 |
| 9回目 | 基礎トレーニング、振付④後半 |
| 10回目 | 基礎トレーニング、振付⑤前半 |
| 11回目 | 基礎トレーニング、振付⑤後半 |
| 12回目 | 基礎トレーニング、振付⑥前半 |
| 13回目 | 基礎トレーニング、振付⑥後半 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|--------------|
| 科目名 (英) | ヒップホップ (HipHop) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | momoca renri |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜3限 |
| 【授業の学習内容】 ダンスの基礎を徹底的に身につけていきます。 | | | | | | | |
| 【講師】 2011年から渡米。トップコレオグラファー達のもとでトレーニングを重ね、アメリカ国内で様々なショーやMVに出演。帰国後は国内アーティストのツアーバックダンサー、MV出演、インストラクター、バトル、ショーケース、など多方面でマルチに活躍。海外や日本のメジャー&アンダーグラウンド両方のダンスシーンの中で磨かれた自由な表現力から生み出されるダンススタイルで唯一無二の存在感を放っている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 アーティスト・ダンサーとして活躍するためのマインドを手に入れる。 ダンスの基礎をマスターする。 1つ1つの動きを正確に大きく踊れるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1回目 | 基礎トレーニング、振付①前半 |
| 2回目 | 基礎トレーニング、振付①後半 |
| 3回目 | 基礎トレーニング、振付②前半 |
| 4回目 | 基礎トレーニング、振付②後半 |
| 5回目 | 基礎トレーニング、振付③前半 |
| 6回目 | 基礎トレーニング、振付③後半 |
| 7回目 | スキルチェック～フィードバック |
| 8回目 | 基礎トレーニング、作品制作 |
| 9回目 | 基礎トレーニング、作品制作 |
| 10回目 | 基礎トレーニング、作品制作 |
| 11回目 | 基礎トレーニング、作品制作 |
| 12回目 | 基礎トレーニング、作品制作 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | フリースタイルブレイキン (FreeStyleBreakin) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小島俊樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜5限 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、体幹トレーニング、フロアトレーニング。 フットワーク、コンビネーション。 スキル練習。 振り付け。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 フロアでのボディーコントロール。ステップ、フットワーク、スキルを得る。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | フロアトレーニングでフロアに慣れる。① |
| 2回目 | フロアトレーニングでフロアに慣れる。② |
| 3回目 | フロアトレーニングでフロアに慣れる。③ |
| 4回目 | フロアトレーニングでフロアに慣れる。④ |
| 5回目 | フロアでのボディーコントロール。① |
| 6回目 | フロアでのボディーコントロール。② |
| 7回目 | フロアでのボディーコントロール。③ |
| 8回目 | フロアでのボディーコントロール。④ |
| 9回目 | ステップ&フットワーク。① |
| 10回目 | ステップ&フットワーク。② |
| 11回目 | ステップ&フットワーク。③ |
| 12回目 | ステップ&フットワーク。④ |
| 13回目 | スキル。フリーズ。技の習得。① |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | フロアで自由にボディーコントロールが出来るようになって、新しい動きを手に入れましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | フリースタイルブレイキン (FreeStyleBreakin) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小島俊樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜5限 |
| 【授業の学習内容】 ストレッチ、体幹トレーニング、フロアトレーニング。 フットワーク、コンビネーション。 スキル練習。 振り付け。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ステップ、フットワーク、を自由に組み合わせ、フリーズや技を自由に組み込みソロが踊れるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ステップ、フットワーク、フリーズを組み合わせたコンビネーション。① |
| 2回目 | ステップ、フットワーク、フリーズを組み合わせたコンビネーション。② |
| 3回目 | スキル強化。スキルを増やす。① |
| 4回目 | スキル強化。スキルを増やす。② |
| 5回目 | スキル強化。スキルを増やす。③ |
| 6回目 | スキル強化。スキルを増やす。④ |
| 7回目 | フリーで動きを組み合わせ。ソロを組み立てる。① |
| 8回目 | フリーで動きを組み合わせ。ソロを組み立てる。② |
| 9回目 | フリーで動きを組み合わせ。ソロを組み立てる。③ |
| 10回目 | フリーで動きを組み合わせ。ソロを組み立てる。④ |
| 11回目 | フリーで振り付け。& ソロ。① |
| 12回目 | フリーで振り付け。& ソロ。② |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | フロアで自由にボディーコントロールが出来るようになって、新しい動きを手に入れましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ボディコンディショニング I (body conditioning) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山炭 裕輝 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜3限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体のどこにどの様になっているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディーケアに繋がっていききたいと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋がってれるように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。</p> <p>講師実務経験：スポーツクラブのインストラクター、パーソナルトレーナー、ミュージカル出演者の専属フィジカルトレーナー、運動指導者、栄養管理指導者</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| <p>①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかりと理解し日頃から行う知識、技術を習得する。</p> <p>②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|------------------------------------|--|
| 1回目 | オリエンテーション(これからのボディコンディショニング)について |
| 2回目 | 姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう① |
| 3回目 | 上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編 |
| 4回目 | 上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～ |
| 5回目 | 下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編 |
| 6回目 | 下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～ |
| 7回目 | 適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとパリスティックストレッチ |
| 8回目 | トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？可動域を先につけることの理由についてメリット&デメリット |
| 9回目 | コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する |
| 10回目 | 実は見逃しがち。足の裏(足底)が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング |
| 11回目 | 体幹は腹筋だけでは不可欠？アウターマッスルとインナーマッスルについて |
| 12回目 | 自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう① |
| 13回目 | 実技試験・評価 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。 |
| 評価方法 | 最終授業にてストレッチ&コンディショニングの実技テストを行う。 |
| 受講生への メッセージ | 筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のためを思い頑張りましょう！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| メモが取れるルーズリーフやノート、筆記用具を準備しておいてください。 | |

| | | | | | | | |
|--|---|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ボディコンディショニング II (body conditioning) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山炭 裕輝 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜3限 |
| 【授業の学習内容】 後期では前期で習得した(セルフストレッチ・コンディショニング)の他に怪我をしない身体作り(予防医学)に方向を向けて授業を進めていきます。特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。 講師実務経験: スポーツクラブのインストラクター、パーソナルトレーナー、ミュージカル出演者の専属フィジカルトレーナー、運動指導者、栄養管理指導者 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①食事・栄養管理など自分には何が必要なのか理解し自分自身の健康を管理できるようになる。 ②ダンスなどに必要な(トレーニング・セルフストレッチ)を習得し実践できるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～ |
| 2回目 | 食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動3割食事7割～ |
| 3回目 | 食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～ |
| 4回目 | 姿勢のチェック改善についていま、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～ |
| 5回目 | セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット |
| 6回目 | ペアトレーニングで効果+強度upできる! 注意すべき点とメリット・デメリット |
| 7回目 | ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて |
| 8回目 | 睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか?～ |
| 9回目 | 運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけない～ |
| 10回目 | 自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう②～全体を通しての組みなおし～ |
| 11回目 | トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し |
| 12回目 | 実技試験・評価 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。 |
| 評価方法 | 最終授業にてストレッチ&コンディショニングの実技テスト+食事・栄養の小テストを行う。 |
| 受講生への メッセージ | 後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 メモが取れるルーズリーフやノート、筆記用具を準備しておいてください。 | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ボディコンディショニング Ⅲ (body conditioning) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山炭 裕輝 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜1限 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体のどこにどの様についているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディーケアに繋がっていききたいと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋がってれるように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。</p> <p>講師実務経験：スポーツクラブのインストラクター、パーソナルトレーナー、ミュージカル出演者の専属フィジカルトレーナー、運動指導者、栄養管理指導者</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| <p>①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかりと理解し日頃から行う知識、技術を習得する。</p> <p>②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|------------------------------------|--|
| 1回目 | オリエンテーション(これからのボディコンディショニング)について |
| 2回目 | 姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう① |
| 3回目 | 上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編 |
| 4回目 | 上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～ |
| 5回目 | 下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編 |
| 6回目 | 下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～ |
| 7回目 | 適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとパリスティックストレッチ |
| 8回目 | トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？可動域を先につけることの理由についてメリット&デメリット |
| 9回目 | コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する |
| 10回目 | 実は見逃しがち。足の裏(足底)が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング |
| 11回目 | 体幹は腹筋だけでは不可欠？アウターマッスルとインナーマッスルについて |
| 12回目 | 自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう① |
| 13回目 | 実技試験・評価 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。 |
| 評価方法 | 最終授業にてストレッチ&コンディショニングの実技テストを行う。 |
| 受講生への メッセージ | 筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のためを思い頑張りましょう！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| メモが取れるルーズリーフやノート、筆記用具を準備しておいてください。 | |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ボディコンディショニング IV | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山炭 裕輝 |
| | (body conditioning) | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 水曜1限 |
| 【授業の学習内容】 後期では前期で習得した(セルフストレッチ・コンディショニング)の他に怪我をしない身体作り(予防医学)に方向を向けて授業を進め行きます。特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。 講師実務経験: スポーツクラブのインストラクター、パーソナルトレーナー、ミュージカル出演者の専属フィジカルトレーナー、運動指導者、栄養管理指導者 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①食事・栄養管理など自分には何が必要なのか理解し自分自身の健康を管理できるようになる。 ②ダンスなどに必要な(トレーニング・セルフストレッチ)を習得し実践できるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～ |
| 2回目 | 食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動3割食事7割～ |
| 3回目 | 食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～ |
| 4回目 | 姿勢のチェック改善についていま、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～ |
| 5回目 | セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット |
| 6回目 | ペアトレーニングで効果+強度upできる! 注意すべき点とメリット・デメリット |
| 7回目 | ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて |
| 8回目 | 睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか?～ |
| 9回目 | 運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけない～ |
| 10回目 | 自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう②～全体を通しての組みなおし～ |
| 11回目 | トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し |
| 12回目 | 実技試験・評価 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。 |
| 評価方法 | 最終授業にてストレッチ&コンディショニングの実技テスト+食事・栄養の小テストを行う。 |
| 受講生への メッセージ | 後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 メモが取れるルーズリーフやノート、筆記用具を準備しておいてください。 | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | アクロバット (Acrobat) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜5限 |
| 【授業の学習内容】 パフォーマーとして活躍するうえで、武器となるアクロバット技術を身につけます。 <講師プロフィール> 1989年～倉田プロモーション(倉田保昭 師事)の指導により、アクションのノウハウを学ぶ。1996年Action Team J-ONE結成。現在、舞台、映画、ドラマに出演の他、アクション指導、アクションコーディネーター(アクション監督)としても、依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 (目標①)アクション基本(マット運動、アクロバット) (目標②)アクション基本(受け身、突き蹴り、刀) (目標③)アクション基本(立ち回り) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | 現代アクション、殺陣、スタントの違いと動きとは |
| 2回目 | (目標①)基本的なマット運動とは |
| 3回目 | (目標①)基本的なマット運動(側転・倒立) |
| 4回目 | (目標①)基本的なマット運動「倒立・ロンダート・バク転基礎」 |
| 5回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作とは |
| 6回目 | 「目標②)アクションにおける受け身動作(前受け身・後ろ受け身) |
| 7回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作(横受け身・背落ち) |
| 8回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作(武器を持つての受け身・リアクションからの受け身) |
| 9回目 | (目標③)現代アクション・殺陣立ち回りとは |
| 10回目 | (目標③)現代アクション基本的な振付 |
| 11回目 | (目標③)現代アクションの実習を行う |
| 12回目 | (目標③)殺陣(時代劇)の基本的な振付 |
| 13回目 | 9月特別授業 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | ミュージカル演習 |
| 準備学習 時間外 学習 | (目標①②③)イメージトレーニング、日頃から日常生活の中で身体を動かすことを意識する |
| 評価方法 | 実技試験 |
| 受講生への メッセージ | アクロバットは特殊な分野ですが、パフォーマーにとって引き出しの一つとして修得する価値はあると思います。この授業で身につけたことは、将来の進路に対する一つの武器になる様、指導していきたいと思っています。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------|
| 科目名 (英) | アクロバット (Acrobat) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 月曜5限 |
| 【授業の学習内容】 パフォーマーとして活躍するうえで、武器となるアクロバット技術を身につけます。 <講師プロフィール> 1989年～倉田プロモーション(倉田保昭 師事)の指導により、アクションのノウハウを学ぶ。1996年Action Team J-ONE結成。現在、舞台、映画、ドラマに出演の他、アクション指導、アクションコーディネーター(アクション監督)としても、依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 (目標①)アクション基本(マット運動、アクロバット) (目標②)アクション基本(受け身、突き蹴り、刀) (目標③)アクション基本(立ち回り) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | 現代アクション、殺陣、スタントの違いと動きとは |
| 2回目 | (目標①)基本的なマット運動とは |
| 3回目 | (目標①)基本的なマット運動(側転・倒立) |
| 4回目 | (目標①)基本的なマット運動「倒立・ロンダート・バク転基礎」 |
| 5回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作とは |
| 6回目 | 「目標②)アクションにおける受け身動作(前受け身・後ろ受け身) |
| 7回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作(横受け身・背落ち) |
| 8回目 | (目標②)アクションにおける受け身動作(武器を持つての受け身・リアクションからの受け身) |
| 9回目 | (目標③)現代アクション・殺陣立ち回りとは |
| 10回目 | (目標③)現代アクション基本的な振付 |
| 11回目 | (目標③)現代アクションの実習を行う |
| 12回目 | (目標③)殺陣(時代劇)の基本的な振付 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | (目標①②③)イメージトレーニング、日頃から日常生活の中で身体を動かすことを意識する |
| 評価方法 | 実技試験 |
| 受講生への メッセージ | アクロバットは特殊な分野ですが、パフォーマーにとって引き出しの一つとして修得する価値はあると思います。この授業で身につけたことは、将来の進路に対する一つの武器になる様、指導していきたいと思っています。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 楽器演奏基礎(ピアノ) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 田中 華愛 |
| | (Basic Instrumental Technique) | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 木曜5限 |
| 【授業の学習内容】 歌に必要なキーも理解し、又それをバンドメンバーなどに伝えられるよう、12のキー全てのダイアトニックコードを身に付けます。 前期では主に弾き語りを課題曲とします。 【講師実績】 アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM生演奏など様々なシーンで活躍している講師が、ボーカリストに必要なピアノの技術を基礎から教えます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 コードを理解する事ができ、又それを演奏する事ができる。 歌に合うボーイングを弾くことができ、弾き語りで自分の音を正確に出すことができる。 ボイストレーナーとしてもピアノの伴奏が出来る。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------------------------------|--|
| 1回目 | 【鍵盤と音階の一致】音階と音名を指番号を守って両手で演奏することができる。 |
| 2回目 | 【♯音記号とへ音記号】音符の向きに気をつけて音階を書く事ができる。又指番号を守って、上昇と下降で両手演奏をする事ができる。 <u>※練習曲</u> コードが2つの楽曲を伴奏できる。 |
| 3回目 | 【♭と♯について】調号の順番を正しく書く事ができる。Key=Gとkey=Fのメジャースケールを記入し音名を歌いながら演奏が出来る。 |
| 4回目 | 【音符の長さとおと】8分音符や16分音符などを4拍子や3拍子等それぞれの拍に合わせて、歌とピアノで音符の長さを演奏する事ができる。 |
| 5回目 | 【弾き語り課題曲1】HAPPY BIRTHDAYを3拍子バージョンと4拍子バージョンで弾き分ける事が出来る。 |
| 6回目 | 【メジャーとマイナーについて】コードの響きの違いを理解出来る |
| 7回目 | 【ダイアトニックコード1】メジャースケール上にできるコードをディグリーでも理解し3和音で演奏することができる。又3コードの循環コードを演奏できる。Key=C |
| 8回目 | 【ダイアトニックコード2】#系のダイアトニックコード全てのKEYを楽譜に書く事が出来、両手で演奏する事ができる。 |
| 9回目 | 【ダイアトニックコード3】♭系のダイアトニックコード全てのKEYを楽譜に書く事が出来、両手で演奏する事ができる。 |
| 10回目 | 【コードの理解と転回型】メジャーとマイナーの違いをしっかりと習得し、転回型でも両手で演奏できる。 |
| 11回目 | 【弾き語り課題曲2】コード譜を書く事が出来る。 |
| 12回目 | 【弾き語り課題曲2】循環コードを曲にあったヴォイシングを作り演奏することが出来る。 |
| 13回目 | 【テスト】筆記及び弾き語り発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業内だけでなく、自主練習が技術向上の鍵です。 限られた学生生活の中で、時間を有意義に使って下さい。 また夏休みに課題を出します。 休みの間もしっかり練習して下さい。 |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 筆記と実技 |
| 受講生への メッセージ | ボーカリストに必要なピアノの伴奏をしっかり身につけましょう。その為には授業以外にもスタジオに入って練習を重ねましょう。 歌やダンス同様、ピアノも練習をすれば必ず力がつきます。夢に向かって自分を信じ、学校生活を充実したものにして下さい。 『思った通り』ではなく『行動した通り』になる、壁にぶつかった時思い出して下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 iPad／五線譜 | |

| | | | | | | | |
|--|---|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 楽器演奏基礎(ピアノ) (Basic Instrumental Technique) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 田中 華愛 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜5限 |
| 【授業の学習内容】 前期で学んだことを使いながら、弾き語りやボイトレ、作曲に必要なピアノの知識を教えます。 後期では作曲についても導入します。 【講師実績】 アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM生演奏など様々なシーンで活躍している講師が、ボーカリストに必要なピアノの技術を基礎から教えます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 後期は作曲に必要なコード進行や打ち込みも入ります。 コードについてしっかり理解し、歌やダンスだけでなく自分を売り込むプラスワンを身につけます。 1年生の最終授業までに弾き語りと作曲(打ち込み)が出来るようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 【復習】前期のコード復習。転回形でコードを弾く事が出来る |
| 2回目 | 【4和音について】7thコードについて理解しヴォイスングを正しく作り伴奏する事が出来る |
| 3回目 | 【コードの種類について】add、sus、dimなどのコードを理解し伴奏する事が出来る |
| 4回目 | 【スケールについて1】ペンタニックスケールを理解し、ペンタニックスケールを使った楽曲のメロディを弾く事が出来る ※課題曲 |
| 5回目 | 【スケールについて2】マイナーペンタニックスケールを理解しマイナーペンタニックスケールのフレーズを作る事が出来る |
| 6回目 | 【作曲導入1】マイナーペンタニックスケールのリフを使い曲を作る事が出来る |
| 7回目 | 【作曲導入1】前回作ったフレーズにリズムを効果的なサウンドを選択しオリジナル曲を完成させる事が出来る。及び提出。 |
| 8回目 | 【リズムトレーニング1】シンコペーションの伴奏を両手で出来る |
| 9回目 | 【リズムトレーニング2】8ビートのバックングをする事が出来る |
| 10回目 | 【弾き語り課題】テストに向けて |
| 11回目 | テスト |
| 12回目 | 授業振り返り |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 楽器演奏基礎(ピアノ) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 田中 華愛 |
| | (Basic Instrumental Technique) | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| 【授業の学習内容】 1年次に引き続き弾き語りができる事を目標に進めて行きます。 弾き語りは強化していき、8ビートのスタンダードな伴奏スタイル以外にも、バックギングの種類を増やし、曲に合った伴奏が出来るようにします。 また、オリジナル曲を作る事も進めて行きます。ipadは常に授業に持参して下さい。「業界から選ばれる人」になってもらいます。 【講師実績】 アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM生演奏など様々なシーンで活躍している講師が、ボーカリストに必要なピアノの技術を基礎から教えます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 コードを理解する事が出来、又それを演奏する事ができる。 歌に合うボーイングを弾くことができ、弾き語りで自分の音を正確に出すことができる。 ボイストレーナーとしてもピアノの伴奏が出来る。 コードのアレンジと多様なバックギングが出来る。 GarageBand若しくはLogicを使いオリジナル曲を作り録音する事が出来る。また既存の曲の編集が出来る | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------------------------------|---|
| 1回目 | 【コードの復習と転回型】ダイアトニックコードの復習。リズム伴奏と転回型の伴奏をつける事が出来る。 |
| 2回目 | 【課題曲1】人前で披露出来る曲を持つ。持ち曲となる曲のコード譜が書ける。 |
| 3回目 | 【課題曲1】曲に合ったボーイングを作る事が出来、コード弾き出来る |
| 4回目 | 【課題曲1】弾き語り披露。自分の持ち曲となる曲を弾き語りする事が出来る。 |
| 5回目 | 【作曲1】循環するコード(6451)を使い、正しいボーイングで録音出来る。 |
| 6回目 | 【作曲1】リズムや効果的なサウンドを取り入れ曲に起承転結をつける事が出来る。 |
| 7回目 | 【voicingの発想と分数コード】【課題曲2】コードの効果的なvoicingを作る事が出来る。分数コードを理解し、曲に合ったボーイングを作る事が出来る。 |
| 8回目 | 【課題曲2】分数コードの課題曲をコード弾きをする事が出来る。 |
| 9回目 | 【課題曲2】分数コードの課題曲を弾き語りする事が出来る |
| 10回目 | 【backingとシンコーペーション】【課題曲3】多様なバックギングやシンコーペーションをリズムに合わせてコード弾きする事が出来る |
| 11回目 | 【課題曲3】バックギングやシンコーペーションの課題曲を曲に合ったボーイングで演奏する事が出来る。 |
| 12回目 | テスト【課題曲3】弾き語り披露。伴奏のリズムと歌をしっかりと合わせて弾き語りする事が出来る。 |
| 13回目 | 【前期最終課題】自分が踊る用の楽曲の基盤コードを作る事が出来る。(後期に向けて)※後期までの課題→リズムトラックを入れてサイズを決めておく |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 1年生の時にも伝えましたが、与えられた物や手にしたものは自分自身で使わないと腐食します。 時間＝命なので、授業時間外の時間も自分の夢や未来のために復習予習練習を！ |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 実技試験 |
| 受講生への メッセージ | いよいよ卒業に向けて最後の一年のスタートです。後輩も出来て先輩としての姿を示すプレッシャーもあるかと思いますが。限られた時間の中で、自分の夢の為に出来る事を全て全力で取り組んで下さい。適当な「これで良いか」ではなく確信の「これがよし」「これがベスト」な姿勢を。 そうすれば、自分の為にも繋がるし、後輩にも伝わると思います。「やりたい事」と「やるべき事」は別です。これが交わったときに最大限の力を発揮できるように一緒に頑張りましょう。 みんなの目標や夢が叶うようにこの一年を大切に過ごして下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 iPad／五線譜 | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 楽器演奏基礎(ピアノ) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 田中 華愛 |
| | (Basic Instrumental Technique) | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 木曜4限 |
| <p>【授業の学習内容】</p> <p>後期は「仕事」として使えるレベルを目指します。 大きく分けて3つです。弾き語りは引き続き強化していき、ボイストレーナーとしてのピアノ伴奏、デビュー系では作曲を強化します。</p> <p>【講師実績】</p> <p>アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM生演奏など様々なシーンで活躍している講師が、ボーカリストに必要なピアノの技術を基礎から教えます。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>コードネームを見てすぐ弾けるようになる。 歌に合うボイスを弾くことができ、弾き語りで自分の音を正確に出すことができる。 ボイストレーナーとしてもピアノの伴奏が出来る。 GarageBand若しくはLogicを使いオリジナル曲を作り、SNSに投稿する。 「業界から選ばれる人になる」を目指した授業です。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | 【作曲1】課題確認。及び作ったコードに上物のフレーズを作り打ち込む事が出来る。～前期続き～ |
| 2回目 | 【作曲1】リズムトラックの起承転結の編集をする事が出来る。又踊るフリのイメージが出来る。 |
| 3回目 | 【作曲1】曲の披露と振付動画の提出 |
| 4回目 | 【ボイトレ伴奏法1】コード弾きで自分も発声しながら伴奏ができる |
| 5回目 | 【ボイトレ伴奏法1】アルペジオ奏法で同級生の発声伴奏ができる。実践型 |
| 6回目 | 【弾き語り1】自分が弾き語りしたい楽曲の選択とコード譜作成ができる。※1番のみ |
| 7回目 | 【弾き語り1】選んだ曲に合ったボイスと伴奏を作る事が出来る |
| 8回目 | 【弾き語り発表】リズムをしっかりキープして弾き語りを披露することができる。※撮影有り |
| 9回目 | 【作曲&弾き語り】オリジナルで弾き語り曲を作る事が出来る(トラックの有無は学生が決める) |
| 10回目 | 【作曲&弾き語り】制作続き |
| 11回目 | 【作曲&弾き語り】オーディションに出せるクオリティまで持っていく事が出来る |
| 12回目 | テスト→オリジナル弾き語り曲披露 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 前期から引き続き、授業外＝休日ではないので、時間を自分の夢や目標のために有意義に使って下さい。 復習予習練習。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 後期に入ると卒業まであつという間です。 体調管理もしっかりと。 また課題提出や発表などは約束を守る基本を忘れないでください。 職業人に向けてしっかり先を見据えて毎時間の授業を取り組みましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| iPad、五線譜 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ヴォーカルパフォーマンス (Vocal Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 海老沼俊輔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲などを用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。 〈具体的な目的〉 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | (目標①②)課題曲1振り入れ 1コーラス |
| 2回目 | (目標②③)課題曲1振り入れ 1コーラス+パート分け歌唱 |
| 3回目 | (目標②③) 課題曲1振り入れ 1コーラス+構成+パート別け |
| 4回目 | (目標①②③)課題曲1パフォーマンス 構成 |
| 5回目 | (目標①②③)課題曲1パフォーマンス 固め |
| 6回目 | (目標①②)課題曲1パフォーマンス 確認 |
| 7回目 | (目標②③) 自由曲 ユニット 1コーラス分振り確認 |
| 8回目 | (目標②③) 自由曲 ユニット 1コーラス分振り確認 |
| 9回目 | (目標①②③)自由曲 ユニット パフォーマンス確認 |
| 10回目 | (目標①②③)自由曲 パフォーマンス最終確認 |
| 11回目 | (目標①②③)ステージ準備確認 |
| 12回目 | (目標①②③)ステージ準備確認 |
| 13回目 | (目標①②③)ステージ発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業の中では家で作ったものを確認する場になります |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 2年生は卒業した後はどうやって活動していくのか？を考えながら授業を行いますので、受ける授業ではなく「考える授業」を行います。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 PCまたはiPad、メモ用紙、ペン | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ヴォーカルパフォーマンス (Vocal Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 海老沼俊輔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲などを用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。 〈具体的な目的〉 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1回目 | (目標①②)課題曲1振り入れ 1コーラス |
| 2回目 | (目標②③)課題曲1振り入れ 1コーラス+パート分け歌唱 |
| 3回目 | (目標②③) 課題曲1振り入れ 1コーラス+構成+パート別け |
| 4回目 | (目標①②③)課題曲1パフォーマンス 構成 |
| 5回目 | (目標①②③)課題曲1パフォーマンス 固め |
| 6回目 | (目標①②)課題曲1パフォーマンス 確認 |
| 7回目 | (目標②③) 自由曲 ユニット 1コーラス分振り確認 |
| 8回目 | (目標②③) 自由曲 ユニット 1コーラス分振り確認 |
| 9回目 | (目標①②③)自由曲 ユニット パフォーマンス確認 |
| 10回目 | (目標①②③)自由曲 パフォーマンス最終確認 |
| 11回目 | (目標①②③)ステージ準備確認 |
| 12回目 | (目標①②③)ステージ発表 |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業の中では家で作ったものを確認する場になります |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 2年生は卒業した後はどうやって活動していくのか？を考えながら授業を行いますので、受ける授業ではなく「考える授業」を行います。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 PCまたはiPad、メモ用紙、ペン | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ヴォーカルパフォーマンス (Vocal Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 海老沼俊輔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜4限 |
| 【授業の学習内容】 ダンス&ヴォーカルではソロ+ダンサーなど、全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では歌う体作りをメインとし、1曲を歌い切る力をつける。与えられた振りりと歌割りを短い時間の中で体現でき、デレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。 <具体的な目標> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | ボイスチェック |
| 2回目 | 【目標①】[セクション1]1st TAからCTへのブリッジトリートメント① 課題曲1振り入れ 1コーラス目+基礎作り(毎回) |
| 3回目 | 【目標①】1st TAからCTへのブリッジトリートメント② 課題曲1振り入れ 1コーラス目+パート分け歌唱 |
| 4回目 | 【目標①】1st TA強化トレーニング 課題曲1振り入れ 1コーラス目+構成+パート別け |
| 5回目 | 【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジトリートメント① 課題曲1パフォーマンス 構成 |
| 6回目 | 【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジトリートメント② 課題曲1パフォーマンス 固め |
| 7回目 | 【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジトリートメント① 課題曲1パフォーマンス 確認 |
| 8回目 | 【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジトリートメント② 課題曲2振り入れ 1コーラス目 【ソロ強化】 |
| 9回目 | 【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジトリートメント③ 課題曲2振り入れ 1コーラス目+構成 【ソロ強化】 |
| 10回目 | 【目標①】[セクション2]1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大① 課題曲2振り入れ 構成 【ソロ強化】 |
| 11回目 | 【目標②】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大② 課題曲2パフォーマンス 固め 【ソロ強化】 |
| 12回目 | 【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング① 課題曲2パフォーマンス 確認 【ソロ強化】 |
| 13回目 | 【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング② 課題曲2パフォーマンス 確認 【ソロ強化】 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | (目標①)1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標②)全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。 初回のレッスンでボイスチェックを行います。自分の得意な曲をワンコーラス、アカペラで歌唱して頂きますのでご準備ください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 PCまたはiPad、メモ用紙、ペン | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ヴォーカルパフォーマンス (Vocal Performance) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 海老沼俊輔 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜4限 |
| 【授業の学習内容】 ダンス&ヴォーカルではソロ+ダンサーなど、全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では歌う体作りをメインとし、1曲を歌い切る力をつける。与えられた振りりと歌割りを短い時間の中で体現でき、デレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。 <具体的な目標> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 【セクション2】3rd チェスト 課題曲③振り入れ 1コーラス目+基礎作り (毎回) 【ソロ強化】 |
| 2回目 | 3rd チェスト 課題曲③振り入れ 1コーラス目 【ソロ強化】 |
| 3回目 | 4th ブリッジトリートメント 課題曲③振り入れ 1コーラス目+構成 【ソロ強化】 |
| 4回目 | 4th ブリッジトリートメント 課題曲③パフォーマンス 構成 【ソロ強化】 |
| 5回目 | 【セクション3】1st TAのバンパアップ 課題曲③パフォーマンス 固め 【ソロ強化】 |
| 6回目 | 1st TAのビルドアップ 課題曲③パフォーマンス確認 【ソロ強化】 |
| 7回目 | 2st TA→CTのビルドアップ 課題曲③振り入れ 1コーラス目+パート分け歌唱 |
| 8回目 | 2st TA→CTのビルドアップ 課題曲③振り入れ 1コーラス目+構成+パート別け |
| 9回目 | 3rd mixのビルドアップ 課題曲④振り入れ 構成 |
| 10回目 | 3rd mixのビルドアップ 課題曲④パフォーマンス 固め |
| 11回目 | 4th ヘッドのビルドアップ 課題曲④パフォーマンス 確認 |
| 12回目 | 4th ヘッドのビルドアップ 課題曲③と④パフォーマンス |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | (目標③)1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標④)全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。 初回のレッスンでボイスチェックを行います。自分の得意な曲をワンコーラス、アカペラで歌唱して頂きますのでご準備ください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 PCまたはiPad、メモ用紙、ペン | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤石 夏菜 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ミュージカルにキャストとして出演するにあたり必要な基礎技術を身につける。呼吸法、発声法に加えて、ストレッチ、筋力トレーニング、リズムトレーニング、応用の振付等も行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 まずは「なりたい自分」を掲げ、それに近づくために自分の身体を自分で把握する。地味な作業でもみんなでやり遂げ継続力を身につける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | オリエンテーション、ストレッチ、筋力トレーニング |
| 2回目 | 呼吸法、姿勢矯正、筋力トレーニング、振り付け |
| 3回目 | 呼吸法、姿勢矯正、筋力トレーニング、振り付け |
| 4回目 | 呼吸法、姿勢矯正、筋力トレーニング、振り付け |
| 5回目 | 呼吸法、発声 |
| 6回目 | 呼吸法、発声 |
| 7回目 | 呼吸法、発声、筋力トレーニング、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 8回目 | 呼吸法、発声、筋力トレーニング、アイソレーション、リズムトレーニング |
| 9回目 | 呼吸法、姿勢矯正、筋力トレーニング、振り付け |
| 10回目 | 呼吸法、姿勢矯正、筋力トレーニング、振り付け |
| 11回目 | ミュージカル劇中内作品振り渡し |
| 12回目 | ミュージカル劇中内作品振り渡し |
| 13回目 | ミュージカル劇中内作品振り渡し |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | 今まで視野に入れたことが無かった分野、自分にとって必要が無いと感じる分野が多く取り入れられている授業内容かもしれません。身につけることが出来れば必ず自分が自分を助けてくれる日が来るので、「とにかくやってみる」をモットーに頑張ってください。なお、出席率が成績に大きく反映されるので必ず出席してください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 藤石 夏菜 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ミュージカルにキャストとして出演するにあたり必要な基礎技術を身につける。呼吸法、発声法に加えて、ストレッチ、筋力トレーニング、リズムトレーニング、応用の振付等も行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 まずは「なりたい自分」を掲げ、それに近づくために自分の身体を自分で把握する。地味な作業でもみんなできやり遂げ継続力を身につける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | ミュージカル稽古 |
| 2回目 | ミュージカル稽古 |
| 3回目 | ミュージカル稽古 |
| 4回目 | ミュージカル稽古 |
| 5回目 | ミュージカル稽古 |
| 6回目 | ミュージカル稽古 |
| 7回目 | ミュージカル稽古 |
| 8回目 | ミュージカル稽古 |
| 9回目 | ミュージカル稽古 |
| 10回目 | ミュージカル稽古 |
| 11回目 | ミュージカル稽古 |
| 12回目 | ミュージカルリハーサル |
| 13回目 | ミュージカルリハーサル |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業内で次回までの課題を出します。 |
| 評価方法 | 出席率(50%) 授業態度(50%) |
| 受講生への メッセージ | 今まで視野に入れたことが無かった分野、自分にとって必要が無いと感じる分野が多く取り入れられている授業内容かもしれません。身につけることが出来れば必ず自分が自分を助けてくれる日が来るので、「とにかくやってみる」をモットーに頑張ってください。なお、出席率が成績に大きく反映されるので必ず出席してください。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山崎 結 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップ等幅広く活動している。 骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉 Hospital Of Miracle』で歌唱する際に必要不可欠な、基礎発声の仕組みや方法を学ぶ。 様々な楽曲を通し、歌うための土台を作っていく。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 歌の基礎を作り上げる事で、骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉 Hospital Of Miracle』だけでなく、様々な現場で必要な楽曲を歌いこなせるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 授業概要説明、自己紹介ワーク、基本的な発声①(姿勢、呼吸、表情筋レクチャー) 課題曲①We're All In This Together:レクチャー テーマ:歌ってみよう! |
| 2回目 | 基本的な発声①、課題曲①復習 テーマ:歌ってみよう! |
| 3回目 | 基本的な発声①、課題曲②レクチャー テーマ:楽しさを表現 |
| 4回目 | 基本的な発声①、課題曲②復習 テーマ:楽しさを表現 |
| 5回目 | 基本的な発声①+②低音練習、課題曲③レクチャー テーマ:悲しみを表現 |
| 6回目 | 基本的な発声①②、課題曲③復習 テーマ:悲しみを表現 自分の気持ちとリンクさせよう! |
| 7回目 | 基本的な発声①②、課題曲④レクチャー テーマ:喜びを表現 |
| 8回目 | 基本的な発声①②、課題曲④復習 テーマ:喜びを表現 |
| 9回目 | 基本的な発声①②、課題曲⑤レクチャー テーマ:2声でハモってみよう |
| 10回目 | 基本的な発声①②、課題曲⑤復習 テーマ:2声でハモってみよう |
| 11回目 | ミュージカル稽古 |
| 12回目 | ミュージカル稽古 |
| 13回目 | ミュージカル稽古 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | ・事前に案内する音源での予習 ・課題曲レクチャー後の復習 |
| 評価方法 | ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■各課題曲の目標の達成度、実践度 30% |
| 受講生への メッセージ | 皆さん一人一人が生まれた時から持っている『声』という楽器を、最大限に活かして歌うことができるように、歌うことを怖がらずぜひ楽しんでください! |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 山崎 結 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップ等幅広く活動している。 骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉 Hospital Of Miracle』で歌唱する際に必要不可欠な、基礎発声の仕組みや方法を学ぶ。 様々な楽曲を通し、歌うための土台を作っていく。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 歌の基礎を作り上げる事で、骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉 Hospital Of Miracle』だけでなく、様々な現場で必要な楽曲を歌いこなせるようになる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | ミュージカル稽古 |
| 2回目 | ミュージカル稽古 |
| 3回目 | ミュージカル稽古 |
| 4回目 | ミュージカル稽古 |
| 5回目 | ミュージカル稽古 |
| 6回目 | ミュージカル稽古 |
| 7回目 | ミュージカル稽古 |
| 8回目 | ミュージカル稽古 |
| 9回目 | ミュージカル稽古 |
| 10回目 | ミュージカル稽古 |
| 11回目 | ミュージカル稽古 |
| 12回目 | ミュージカルリハーサル |
| 13回目 | ミュージカルリハーサル |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | ・事前に案内する音源での予習 ・課題曲レクチャー後の復習 |
| 評価方法 | ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■各課題曲の目標の達成度、実践度 30% |
| 受講生への メッセージ | 皆さん一人一人が生まれた時から持っている『声』という楽器を、最大限に活かして歌うことができるように、歌うことを怖がらずぜひ楽しんでください！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 原 淳未 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ミュージカルに向けて,体作りをしていく。 Jazzの基礎を中心に,体幹を強化していく。 ミュージカルで必要になってくるテクニックを学ぶ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ジャズの基礎を理解する。 ピルエットを回れるようになる。 ミュージカルに向けて,体力,技術を身につける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 柔軟チェック。ストレッチでの体の使い方。 |
| 2回目 | ジャズダンスの基礎。(ポイント,フレックス,プリエ等) |
| 3回目 | ジャズダンスの基礎。(タンジュ,デガジェ等) |
| 4回目 | ジャズダンスの基礎。(ロンデジャンプアテール,ステップ) |
| 5回目 | ピルエットの説明。 |
| 6回目 | ピルエットの強化。 |
| 7回目 | シェネの説明。 |
| 8回目 | ピケの説明。 |
| 9回目 | ターンコンビネーション。 |
| 10回目 | ターンコンビネーション。 |
| 11回目 | 振り渡し |
| 12回目 | 振り渡し |
| 13回目 | 振り渡し |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | ストレッチは習慣化する。 基礎やテクニックは必ず復習しておく。 授業を休んだ場合,前回の分は必ず誰かに聞いておく。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | ミュージカルはエンターテインメントの集約です。 1月の公演に向けて,1つでも出番が多くなるよう,良い立ち位置を勝ち取れるよう努力しましょう。 そして白血病の方々の命に繋がるよう頑張っていきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|------------|
| 科目名 (英) | ミュージカルプロジェクト (Musical Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1.2 | 担当教員 | 原 淳未 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜3, 4, 5限 |
| 【授業の学習内容】 ミュージカルに向けて,体作りをしていく。 Jazzの基礎を中心に,体幹を強化していく。 ミュージカルで必要になってくるテクニックを学ぶ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ジャズの基礎を理解する。 ビルエットを回れるようになる。 ミュージカルに向けて,体力,技術を身につける。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | ミュージカル稽古 |
| 2回目 | ミュージカル稽古 |
| 3回目 | ミュージカル稽古 |
| 4回目 | ミュージカル稽古 |
| 5回目 | ミュージカル稽古 |
| 6回目 | ミュージカル稽古 |
| 7回目 | ミュージカル稽古 |
| 8回目 | ミュージカル稽古 |
| 9回目 | ミュージカル稽古 |
| 10回目 | ミュージカル稽古 |
| 11回目 | ミュージカル稽古 |
| 12回目 | ミュージカルリハーサル |
| 13回目 | ミュージカルリハーサル |
| 14回目 | ミュージカル本番 |
| 15回目 | ミュージカル本番 |
| 準備学習 時間外学 習 | ストレッチは習慣化する。 基礎やテクニックは必ず復習しておく。 授業を休んだ場合,前回の分は必ず誰かに聞いておく。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | ミュージカルはエンターテインメントの集約です。 1月の公演に向けて,1つでも出番が多くなるよう,良い立ち位置を勝ち取れるよう努力しましょう。 そして白血病の方々の命に繋がるよう頑張っていきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|----------|----------|-------------|--------------|-----------------|------|
| 科目名 (英) | アテレコ (Voice Over Technique) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 加勢田進 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 120 (8) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | 曜日・時限 | | 月曜日1・2・3限 火曜日4限 | |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的にご記載ください。)</p> <p>アニメ・アテレコ(スタジオでの演習)実際にマイクの前でアニメ&外画のテレコを行う。 ロバクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得する。 ※アテレコワークショップは前期・後期にかかわらず、姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>アニメアテレコ基礎知識(文章理解力&構成)、音声テクニック(高低&強弱&リズムの変化&メリハリ)</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | スタジオマナー |
| 2回目 | アニメアテレコⅠ① マイクワーク(入れ替わりなど) |
| 3回目 | アニメアテレコⅠ② |
| 4回目 | アニメアテレコⅠ③ |
| 5回目 | アニメアテレコⅠ④ |
| 6回目 | 外画Ⅰ① アメリカ映画(アニメーションとの違いを考える) |
| 7回目 | 外画Ⅰ② |
| 8回目 | 外画Ⅰ③ |
| 9回目 | 外画Ⅰ④ |
| 10回目 | アニメアテレコⅡ①(日常アニメ) |
| 11回目 | アニメアテレコⅡ② |
| 12回目 | アニメアテレコⅡ③ |
| 13回目 | アニメアテレコⅡ④(評価) |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | 課題作品の研究(構成・音声テクニック)は必須 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。 |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>アニメ&外画台本</p> | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|----------|----------|-------------|--------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | アテレコ (Voice Over Technique) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 加勢田進 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 120 (8) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | voisu |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>アニメ・アテレコでは作品・キャラクターの幅を増やす。 男性は普通を意識する。女性は可愛いを意識する。 ※アテレコワークショップは前期・後期にかかわらず、姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>状況・心理・感情・行動説明を理解・習得する。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------------------------------------|---|
| 1回目 | アニメアテレコⅢ① 前期復習(マイクワーク&音声テクニック) |
| 2回目 | アニメアテレコⅢ② |
| 3回目 | アニメアテレコⅢ③ |
| 4回目 | アニメアテレコⅢ④ |
| 5回目 | 外画Ⅱ①(アメリカドラマ) |
| 6回目 | 外画Ⅱ② |
| 7回目 | 外画Ⅱ③ |
| 8回目 | 外画Ⅱ④ |
| 9回目 | アニメアテレコⅥ① 1年次復習(1) |
| 10回目 | アニメアテレコⅥ② 1年次復習(2) |
| 11回目 | アニメアテレコⅥ③ 1年次復習(3) |
| 12回目 | アニメアテレコⅥ④ 1年次後期評価 |
| 13回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 普段アニメーションを見る時にプロの音(声)を意識しながらアニメーションを見る。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 声を出す授業なので発声・活舌は授業の前に済ませておくこと。 |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>アニメ・外画台本</p> | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ヴォイスワーク (Voice Work) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 加勢田進 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日5限目 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>サウンド・ドラマは映像が無く、声だけで表現する世界。 アニメーションや外画とは違い、より明確に映像をイメージすることが大切。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>状況説明・心理感情説明・行動説明を音声のみで表現する。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | ヴォイスドラマⅠ①音声表現の説明 |
| 2回目 | ヴォイスドラマⅠ②グループでの作品練習 |
| 3回目 | ヴォイスドラマⅡ①作品練習 |
| 4回目 | ヴォイスドラマⅡ②作品練習 |
| 5回目 | ヴォイスドラマⅡ③収録(本番) |
| 6回目 | ヴォイスドラマにおける効果音とミュージックを考える |
| 7回目 | ヴォイスドラマⅢ①作品練習 |
| 8回目 | ヴォイスドラマⅢ②作品練習 |
| 9回目 | ヴォイスドラマⅢ③作品練習 |
| 10回目 | ヴォイスドラマⅢ④収録(本番) |
| 11回目 | ヴォイスドラマⅣまとめ① |
| 12回目 | ヴォイスドラマⅣまとめ② |
| 13回目 | ヴォイスワーク(ヴォイスドラマ)評価 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外 学習 | 音(声)のコントロールは授業内では時間不足。普段の生活(家族・知人・友人)の会話の中でも意識しておくこと |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 音声テクニックを身につける |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ヴォイス・ドラマ台本</p> | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | ヴォイスワーク (Voice Work) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 加勢田進 |
| 学科・コース | 声優・声俳 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日5限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>ヴォイスサンプルの原稿は自己制作な為、原稿を作る作業が第一課題。 自分の声質・キャラクターを考慮する。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>2年生になると本収録に入ります。 少なくとも台詞3作品&ナレーション3作品を完成させる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------------------|---|
| 1回目 | ヴォイスサンプルの説明 |
| 2回目 | ヴォイスサンプル台本作成① |
| 3回目 | ヴォイスサンプル台本作成② |
| 4回目 | ヴォイスサンプル台本作成③ |
| 5回目 | ヴォイスサンプル作品決め① |
| 6回目 | ヴォイスサンプル作品決め② |
| 7回目 | ヴォイスサンプル作品決め③ |
| 8回目 | ヴォイスサンプル仮収録① |
| 9回目 | ヴォイスサンプル仮収録② |
| 10回目 | ヴォイスサンプル仮収録③ |
| 11回目 | ヴォイスサンプル仮収録④ |
| 12回目 | ヴォイスサンプル(評価) |
| 13回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 授業内だけで原稿を作るのは難しいので、授業外で作成する事。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | 個人の作品は自分で編集します。 |
| <p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>自己作成</p> | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|---------|
| 科目名 (英) | ラジオトーク (radio Talking) | 必修 選択 | 必須 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | YURIKIM |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日・2限目 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>今後の活躍の様々な場面において必要なコミュニケーション能力、トーク力を身に付ける練習。発声や発音なども聞き取りやすい言葉を発するトレーニングからエンタメ性も織り交ぜ、楽しく自身の能力、個性の発揮や信念の向上に繋がる授業を行う。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>※LOVE FMIにて現役ラジオパーソナリティ、福岡でK-POP DJとしても活躍中。前職は航空会社にてグランドスタッフとして5年半勤務の後、アパレル業界にて店長として2年半務めた。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>大きな声で聞き取りやすいゆっくりで、はっきりとした日本語を話す。ただ発言をするのではなく、話す事一つ一つの言葉の流れをしっかりと考えて、人に伝える、人が反応できることを話すという意識を持ち、様々な場面で応用できるトーク力を身に付ける。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 1回目 | 自己紹介、詳しく。キャッチコピーを考える。 自分とは？を長所と短所3つずつ考える。、授業説明、質問、疑問など |
| 2回目 | 自分のキャッチコピーを作る&テーマにあったあいうえお作文作成と発表 |
| 3回目 | 他人紹介 お互いを知り、紹介し合う。いいところを引き出してあげる |
| 4回目 | 発音の練習 航空アナウンス 2パターン 各自最後にパフォーマンス |
| 5回目 | 2年後、5年後、10年後を考えて発表 |
| 6回目 | 4、5人ほどのグループに分かれてグループディスカッション 最後に代表者が発表。ほかのグループは面接官として発言。 |
| 7回目 | 発音の練習 航空アナウンス 2パターン 各自最後にパフォーマンス |
| 8回目 | 発音の練習。ニュース、天気予報の読み練習、もしくはCM原稿持つてくる予定 |
| 9回目 | スピーチトレーニング。各自好きなお題を選んで2分間以上5分以内で紹介 |
| 10回目 | オリジナル紙芝居を作る |
| 11回目 | オリジナル紙芝居を作る、練習 |
| 12回目 | 紙芝居発表 |
| 13回目 | 9月特別授業 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | ミュージカル演習 |
| 準備学習 時間外学習 | 次の授業で必要な時にプリントにて宿題があります。 |
| 評価方法 | レポート、課題提出 |
| 受講生への メッセージ | 話す事が得意な人も苦手な人も伝える事の面白さを楽しく学んでいきましょう！！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|---------|
| 科目名 (英) | ラジオトーク (radio Talking) | 必修 選択 | 必須 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | YURIKIM |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日・2限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>今後の活躍の様々な場面において必要なコミュニケーション能力、トーク力を身に着ける練習。発声や発音なども聞き取りやすい言葉を発するトレーニングからエンタメ性も織り交ぜ、楽しく自身の能力、個性の発揮や信念の向上に繋がる授業を行う。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>※LOVE FMにて現役ラジオパーソナリティ(2つ番組担当)、福岡でK-POP DJとしても活躍中。前職は航空会社にてグランドスタッフとして5年半勤務の後、アパレル業界にて店長として2年半務めた。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>大きな声で聞き取りやすいはっきりとした日本語を話す。ただ発言をするのではなく、話す事一つ一つの言葉ををしっかりと考えて、人に伝えるという意識を持ち、様々な場面で応用できるトーク力を身に着ける。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|--|
| 1回目 | 夏休みトーク。夏休みの思い出やハプニング出来事をスピーチ。 |
| 2回目 | インタビュートレーニング 二人から3人組でインタビューを行う練習。 |
| 3回目 | スピーチトレーニング。各自をお題選んで3分間で紹介 |
| 4回目 | 先週の発表 |
| 5回目 | インタビュートレーニング 二人から3人組でインタビューを行う練習。 |
| 6回目 | 4, 5人ほどのグループに分かれてグループディスカッション2 最後に代表者が発表。ほかのグループは面接官として発言。 |
| 7回目 | 過去にあった成功談、失敗談を3分でスピーチ |
| 8回目 | 言葉だけで伝えていくゲーム。(ジェスチャーゲームの言葉版)一番点数が低かったチームは罰ゲーム |
| 9回目 | 自分がメインのラジオ番組2〜3人で、3分〜4分でフリートークとタイトルと曲紹介まで作成 |
| 10回目 | スタジオを使って実際に録音し番組作成 |
| 11回目 | 最後にみんなに伝えたい事、モノ申したいことをスピーチ |
| 12回目 | 先週用意したものを3〜4分で自分らしくスピーチ |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 次の授業で必要な時にプリントにて宿題があります。 |
| 評価方法 | レポート、課題提出 |
| 受講生への メッセージ | 話す事が得意な人も苦手な人も伝える事の面白さを楽しく学んでいきましょう！！ |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ステージアクション/殺陣 I (StageAction) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜日1限目 |
| 【授業の学習内容】 映画・ドラマ・舞台でのアクションシーンにおける、基本的な動きと所作、トレーニング方法、突き、蹴り、刀の使い方等、様々なアクションに関する動きや身体の使い方の指導。主に前期はボディーアクション(素手)。マットを使った、受け身やアクロバット指導も入れていく。 実務経験: アジア太平洋博覧会(1989年)にて全1578回のアクションショーをこなした経験もある。テレビドラマ、CM、にも多数出演 総ステージ数は4000を超え、現在、様々な作品でアクション指導を行い、殺陣師(アクション監督・アクションコーディネーター)としても依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 最低限、現場での対応が出来る身体作りと動きが出来る様にする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | アクションとは、ガイダンス講義 |
| 2回目 | マット使って、簡単なマット運動・1 |
| 3回目 | マット使って、簡単なマット運動・2(アクロバット含む) |
| 4回目 | 受け身・リアクション・1 |
| 5回目 | 受け身・リアクション・2 |
| 6回目 | 突き・蹴り基本 |
| 7回目 | 突き・蹴り応用 |
| 8回目 | 突き・蹴り・リアクション応用 |
| 9回目 | 簡単な、立ち回り振付 |
| 10回目 | 簡単な、立ち回り振付 |
| 11回目 | 振付された立ち回りを感情を入れながら動く |
| 12回目 | 振付された立ち回りを感情を入れながら動く |
| 13回目 | 前期、立ち回りテスト |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 日頃から体を動かす意識、イメージトレーニングが必要です。 |
| 評価方法 | 実技テスト(70%) 出席率(30%) |
| 受講生への メッセージ | 現場ではどんな仕事でも、体力勝負です！それに打ち勝つ精神力を身に付けてほしい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ステージアクション/殺陣 II (StageAction) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜日1限目 |
| 【授業の学習内容】 映画・ドラマ・舞台でのアクションシーンにおける、基本的な動きと所作、トレーニング方法、突き、蹴り、刀の使い方等、様々なアクションに関する動きや身体の使い方の指導。主に後期は武器(刀、カリストック等)を使ったアクション。 実務経験: アジア太平洋博覧会(1989年)にて全1578回のアクションショーをこなした経験もある。テレビドラマ、CM、にも多数出演 総ステージ数は4000を超え、現在、様々な作品でアクション指導を行い、殺陣師(アクション監督・アクションコーディネーター)としても依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 刀やカリストック等、武器の振り方握り方など基本的なことをマスターする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 時代劇と現代アクションの違いとは、ガイダンス講義 |
| 2回目 | 刀の説明・1(刀の種類、部首) |
| 3回目 | 刀の説明・2(刀の握り方、足の運び) |
| 4回目 | 刀、抜刀～納刀まで(刀、抜刀から斬りかかるまで) |
| 5回目 | 刀、抜刀～納刀まで(刀、抜刀から納刀まで) |
| 6回目 | 刀、抜刀～納刀まで応用(斬り方の種類) |
| 7回目 | カリストックとは |
| 8回目 | カリストック基本動作 |
| 9回目 | カリストック応用(様々な動き) |
| 10回目 | 刀、カリストックを織り交ぜた立ち回り振付(現代風にアレンジ) |
| 11回目 | 刀、カリストックを織り交ぜた立ち回り振付(現代風にアレンジ)感情表現 |
| 12回目 | 後期、立ち回りテスト |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 日頃から体を動かす意識、イメージトレーニングが必要です。 |
| 評価方法 | 実技テスト(70%) 出席率(30%) |
| 受講生への メッセージ | 現場ではどんな仕事でも、体力勝負です！それに打ち勝つ精神力を身に付けてほしい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 (英) | ステージアクション/殺陣 Ⅲ (StageAction) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | 曜日・時限 | 金曜日1限目 | | |
| 【授業の学習内容】 映画・ドラマ・舞台でのアクションシーンにおける、基本的な動きと所作、トレーニング方法、突き、蹴り、刀の使い方等、様々なアクションに関する動きや身体の使い方の指導。主に前期はボディーアクション(素手)。マットを使った、受け身やアクロバット指導も入れていく。 実務経験: アジア太平洋博覧会(1989年)にて全1578回のアクションショーをこなした経験もある。テレビドラマ、CM、にも多数出演 総ステージ数は4000を超え、現在、様々な作品でアクション指導を行い、殺陣師(アクション監督・アクションコーディネーター)としても依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 最低限、現場での対応が出来る身体作りと動きが出来る様にする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | アクションとは、ガイダンス講義 |
| 2回目 | マット使って、簡単なマット運動・1 |
| 3回目 | マット使って、簡単なマット運動・2(アクロバット含む) |
| 4回目 | 受け身・リアクション・1 |
| 5回目 | 受け身・リアクション・2 |
| 6回目 | 突き・蹴り基本 |
| 7回目 | 突き・蹴り応用 |
| 8回目 | 突き・蹴り・リアクション応用 |
| 9回目 | 簡単な、立ち回り振付 |
| 10回目 | 簡単な、立ち回り振付 |
| 11回目 | 振付された立ち回りを感情を入れながら動く |
| 12回目 | 振付された立ち回りを感情を入れながら動く |
| 13回目 | 前期、立ち回りテスト |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 日頃から体を動かす意識、イメージトレーニングが必要です。 |
| 評価方法 | 実技テスト(70%) 出席率(30%) |
| 受講生への メッセージ | 現場ではどんな仕事でも、体力勝負です！それに打ち勝つ精神力を身に付けてほしい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | ステージアクション/殺陣 IV (StageAction) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 屋宜一隆 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 金曜日2限目 |
| 【授業の学習内容】 映画・ドラマ・舞台でのアクションシーンにおける、基本的な動きと所作、トレーニング方法、突き、蹴り、刀の使い方等、様々なアクションに関する動きや身体の使い方の指導。主に後期は武器(刀、カリストック等)を使ったアクション。 実務経験: アジア太平洋博覧会(1989年)にて全1578回のアクションショーをこなした経験もある。テレビドラマ、CM、にも多数出演 総ステージ数は4000を超え、現在、様々な作品でアクション指導を行い、殺陣師(アクション監督・アクションコーディネーター)としても依頼を受けている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 刀やカリストック等、武器の振り方握り方など基本的なことをマスターする。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 1回目 | 時代劇と現代アクションの違いとは、ガイダンス講義 |
| 2回目 | 刀の説明・1(刀の種類、部首) |
| 3回目 | 刀の説明・2(刀の握り方、足の運び) |
| 4回目 | 刀、抜刀～納刀まで(刀、抜刀から斬りかかるまで) |
| 5回目 | 刀、抜刀～納刀まで(刀、抜刀から納刀まで) |
| 6回目 | 刀、抜刀～納刀まで応用(斬り方の種類) |
| 7回目 | カリストックとは |
| 8回目 | カリストック基本動作 |
| 9回目 | カリストック応用(様々な動き) |
| 10回目 | 刀、カリストックを織り交ぜた立ち回り振付(現代風にアレンジ) |
| 11回目 | 刀、カリストックを織り交ぜた立ち回り振付(現代風にアレンジ)感情表現 |
| 12回目 | 後期、立ち回りテスト |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 日頃から体を動かす意識、イメージトレーニングが必要です。 |
| 評価方法 | 実技テスト(70%) 出席率(30%) |
| 受講生への メッセージ | 現場ではどんな仕事でも、体力勝負です！それに打ち勝つ精神力を身に付けてほしい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|---------|
| 科目名 (英) | ワークショップ (work shops) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 加藤真紀子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 60 (4) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜日3・4限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>俳優・声優にとって、役を演じる・バラエティ等でトークをする上で、求めるものの空気感、温度感を読み取りながら、演じていく必要があります。 特に演技で言うと、求められた役を“生きる”ことが必然となります。周りとの関係性、役の性格、作品のメッセージなどを読み込み、演じていく必要があります。 会話を成立させること、求める空気を読む為に、実際に演技を取り入れつつ、体感しながら、気持ちを読み取っていくトレーニングをしています。 主業務は、脚本家、演出家を行っている。 また、事務所等での演技指導を行い、俳優・声優を送り出している。 他、メンタルケア関連も行っている。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>課題に対し、自らで体感した事を自信を持って発信できる 追求心を養い新たな課題を見つける。 人に伝える楽しさを体感し、相手の気持ちを読み取る。</p> <p>更なる美意識(内面・外見)の追求心を持つ。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 1回目 | (基礎Ⅱ) 意識開拓 (表現・人に伝える事、楽しませる意味などを知る) / 発想力訓練(基礎) 表現をしていく上で心身共に柔軟性を養う |
| 2回目 | (基礎Ⅱ) 想像力(頭)を使って表現一致。 自分の伝えたい事を身体を使って考えている事を表に表現できるようにしていく |
| 3回目 | (基礎Ⅱ)瞬発力訓練 課題に対し、順次応えていくスピードをあげていく。 |
| 4回目 | (基礎Ⅱ)コミュニケーション訓練 相手の求める事、セリフを使って会話する意味を知る |
| 5回目 | (基礎Ⅲ) 上記課題 融合/反復 応用編 |
| 6回目 | (基礎Ⅲ)読解力訓練。 会話の成り立ちの意味を知る。「受け」「発信」の意味を知る。 |
| 7回目 | (基礎Ⅲ)柔軟性・適応能力強化。 課題に取り組みながら同時にアンテナ数を増やし、視野を広げていく |
| 8回目 | 上記複数を取り込みながら融合強化。反復・応用編 |
| 9回目 | 相手の心(気持ち)を読む・感じる。 嘘をつかない芝居(表現)とは。 |
| 10回目 | 適応能力強化。 課題を通して指示に応えていく。 |
| 11回目 | ユーモアの取入れ。 課題を通して指示に応えつつ、個性の発揮の出し方を知る。 |
| 12回目 | 上記、融合。反復 応用編 |
| 13回目 | 上記、融合。反復 応用編 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 日頃からの訓練が必要となります。授業で習得した事(基礎体力や意識する事)を日常から意識しながら常に発見と追求が必要となります。 それだけでセンスも磨きもスピードが変わります。とにかく習得した事を意味を分かりながら反復する事が大事です。 また常に見られる意識を持っている事。自分の理想イメージ像を常に持ち、自分の為に研究する事です。 |
| 評価方法 | 実技試験 100% |
| 受講生への メッセージ | 魅力:芝居を通して言える事は、私たちと同じ人として生きており、そのキャラクターに心があるという事。そして貴方の大切な人生があると同時に作品の中で生きるキャラクターにも大切な人生があります。より繊細に考えるだけで魅力が増します。そう考えていく上で必要なのは、貴方自身の人間力が必要になります。ここでは技術を習得すると共に個人の人間力強化にも繋がります。なので習得したものはとにかく反復して自分のモノに出来ると必然に人間力も増していくので、反復を欠かさずやることをお勧めします。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------|----------|----|-------------|-----------|-------|---------|
| 科目名 (英) | ワークショップ (workshop) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 加藤真紀子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 60 (4) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜日3・4限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>業界からの企画を応えていくには、適応能力、発想力、瞬発力、集中力、ユーモア性、読解能力、協調性、柔軟性、責任感が必要となります。又、上記に伴い、個人の個性と発信力を要し、身体的にも精神的にもとてもエネルギーを要してきます。</p> <p>課題を踏まえた上で、実際に体を動かしながら(芝居や身体表現)自らの心で動くもの、発見する事、気づくことを体感し、基礎体力、発信力(伝えていく力)を養い実践力をつけていく。同時に人間力(内面も外見も)を強化。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>① 心情を大切に、相手との会話を成立させていく。 ② 相手の気持ちを読み取り、空気に合わせた楽しませ方を習得。 ③ 実践トレーニングを取り入れながら、意識向上/意識開拓の向上。 ④ 役作りについて奥深さを身につけていく。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | 課題作品。 作品を創る上でのルール(指示)を取り込みながら、演じていくアンテナを増やししながらオーダーに応える訓練。 |
| 2回目 | 課題作品。 共演者(周りの音)を聞きながら、更にアンテナを増やし、共有していくトレーニング。 |
| 3回目 | 課題作品。 集中力の持続・上記を合わせながら、集中力持続強化トレーニング。 |
| 4回目 | 課題作品。 会話をする上で、互いの気持ちを読み込めとり、演じるキャラクターの気持ちを整理していく。 |
| 5回目 | 課題作品。 互いの会話を成立させるトレーニング。 会話が不成立している意味を知る。 |
| 6回目 | 課題作品。 作品の中で伝えたい本質を知る。 |
| 7回目 | 課題作品。 作品を一本完成させる意味を知る。作品を届ける意味を知る。 |
| 8回目 | 課題作品。 本番を体感する。人に伝える意味を知る。 |
| 9回目 | 卒業・進級課題。 作品への取り組みに対してのスピードをあげて対応能力強化。 |
| 10回目 | 卒業・進級課題。 役作りに対しての心情強化。 |
| 11回目 | 卒業・進級課題。 作品・役作りへのこだわり(繊細さ)を強化。 |
| 12回目 | 卒業・進級課題。 上記課題をリンクしながら、演技を合わせていくアンテナ強化。(対応能力強化) |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 日頃からの訓練が必要となります。授業で習得した事(基礎体力や意識する事)を日常から意識しながら常に発見と追求が必要となります。それだけでセンスも磨きもスピードが変わります。とにかく習得した事を意味を分かりながら反復する事が大事です。また常に見られる意識を持っている事。自分の理想イメージ像を常に持ち、自分の為に研究する事です。 |
| 評価方法 | 実技試験 100% |
| 受講生への メッセージ | 魅力:芝居を通して言える事は、私たちと同じ人として生きており、そのキャラクターに心があるという事。そして貴方の大切な人生があると同じように作品の中で生きるキャラクターにも大切な人生があります。より繊細に考えるだけで魅力が増します。そう考えていく上で必要なのは、貴方自身の人間力が必要になります。ここでは技術を習得すると共に個人の人間力強化にも繋がります。なので習得したものはとにかく反復して自分のモノに出来ると必然に人間力も増していくので、反復を欠かさずやることをお勧めします。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 舞台制作ゼミ (stage Acting) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | 加藤真紀子 |
| 学号・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜日5限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>俳優にとって、役を演じる・バラエティ等でトークをする上で、求めるものの空気感、温度感を読み取りながら、演じていく必要があります。 特に演技で言うと、求められた役を"生きる"ことが必然となります。周りとの関係性、役の性格、作品のメッセージなどを読み込み、演じていく必要があります。 会話を成立させること、求める空気を読む為に、実際に演技を取り入れつつ、体感しながら、気持ちを読み取っていくトレーニングをしています。 主業務は、脚本家、演出家を行っている。 また、事務所等での演技指導を行い、俳優・声優を送り出している。 他、メンタルケア関連も行っている。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>課題に対し、自らで体感した事を自信を持って発信できる 追求心を養い新たな課題を見つける。 人に伝える楽しさを体感し、相手の気持ちを読み取る。</p> <p>更なる美意識(内面・外見)の追求心を持つ。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 1回目 | (基礎) 意識開拓 (表現・人に伝える事、楽しませる意味などを知る) / 発想力訓練(基礎) 表現をしていく上で心身共に柔軟性を養う |
| 2回目 | (基礎) 想像力(頭)を使って表現一致。 自分の伝えたい事を身体を使って考えている事を表に表現できるようにしていく |
| 3回目 | (基礎) 瞬発力訓練 課題に対し、順次応えていくスピードをあげていく。 |
| 4回目 | (基礎) コミュニケーション訓練 相手の求める事、セリフを使って会話する意味を知る |
| 5回目 | (基礎) 上記課題 融合/反復 応用編 |
| 6回目 | (基礎) 読解力訓練。 会話の成り立ちの意味を知る。「受け」「発信」の意味を知る。 |
| 7回目 | (基礎) 柔軟性・適応能力強化。 課題に取り組みながら同時にアンテナ数を増やし、視野を広げていく |
| 8回目 | 上記複数を取り込みながら融合強化。反復・応用編 |
| 9回目 | 相手の心(気持ち)を読む・感じる。 嘘をつかない芝居(表現)とは。 |
| 10回目 | 適応能力強化。 課題を通して指示に応えていく。 |
| 11回目 | ユーモアの取入れ。 課題を通して指示に応えつつ、個性の発揮の出し方を知る。 |
| 12回目 | 上記、融合。反復 応用編 |
| 13回目 | 上記、融合。反復 応用編 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 日頃からの訓練が必要となります。授業で習得した事(基礎体力や意識する事)を日常から意識しながら常に発見と追求が必要となります。 それだけでセンスも磨きもスピードが変わります。とにかく習得した事を意味を分かりながら反復する事が大事です。 また常に見られる意識を持っている事。自分の理想イメージ像を常に持ち、自分の為に研究する事です。 |
| 評価方法 | 実技試験 100% |
| 受講生への メッセージ | 魅力:芝居を通して言える事は、私たちと同じ人として生きており、そのキャラクターに心があるという事。そして貴方の大切な人生があると同時に作品の中で生きるキャラクターにも大切な人生があります。より繊細に考えるだけで魅力が増します。そう考えていく上で必要なのは、貴方自身の人間力が必要になります。ここでは技術を習得すると共に個人の人間力強化にも繋がります。なので習得したものはとにかく反復して自分のモノに出来ると必然に人間力も増していくので、反復を欠かさずやることをお勧めします。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|----------|----|-------------|-------------|-------|-------|
| 科目名 (英) | 舞台制作ゼミ (stage Acting) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1・2 | 担当教員 | 加藤真紀子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 木曜日5限 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>業界からの企画を応えていく為には、適応能力、発想力、瞬発力、集中力、ユーモア性、読解能力、協調性、柔軟性、責任感が必要となります。又、上記に伴い、個人の個性と発信力を要し、身体的にも精神的にもとてもエネルギーを要してきます。</p> <p>課題を踏まえた上で、実際に体を動かしながら(芝居や身体表現)自らの心で動くもの、発見する事、気づくことを体感し、基礎体力、発信力(伝えていく力)を養い実践力をつけていく。同時に人間力(内面も外見も)を強化。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>① 心情を大切に、相手との会話を成立させていく。 ② 相手の気持ちを読み取り、空気に合わせた楽しませ方を習得。 ③ 実践トレーニングを取り入れながら、意識向上/意識開拓の向上。 ④ 役作りについて奥深さを身につけていく。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | 課題作品。 作品を創る上でのルール(指示)を取り込みながら、演じていくアンテナを増やししながらオーダーに応える訓練。 |
| 2回目 | 課題作品。 共演者(周りの音)を聞きながら、更にアンテナを増やし、共有していくトレーニング。 |
| 3回目 | 課題作品。 集中力の持続・上記を合わせながら、集中力持続強化トレーニング。 |
| 4回目 | 課題作品。 会話をする上で、互いの気持ちを読み込めとり、演じるキャラクターの気持ちを整理していく。 |
| 5回目 | 課題作品。 互いの会話を成立させるトレーニング。 会話が不成立している意味を知る。 |
| 6回目 | 課題作品。 作品の中で伝えたい本質を知る。 |
| 7回目 | 課題作品。 作品を一本完成させる意味を知る。作品を届ける意味を知る。 |
| 8回目 | 課題作品。 本番を体感する。人に伝える意味を知る。 |
| 9回目 | 卒業・進級課題。 作品への取り組みに対してのスピードをあげて対応能力強化。 |
| 10回目 | 卒業・進級課題。 役作りに対しての心情強化。 |
| 11回目 | 卒業・進級課題。 作品・役作りへのこだわり(繊細さ)を強化。 |
| 12回目 | 卒業・進級課題。 上記課題をリンクしながら、演技を合わせていくアンテナ強化。(対応能力強化) |
| 13回目 | ミュージカル演習 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | 日頃からの訓練が必要となります。授業で習得した事(基礎体力や意識する事)を日常から意識しながら常に発見と追求が必要となります。それだけでセンスも磨きもスピードが変わります。とにかく習得した事を意味を分かりながら反復する事が大事です。また常に見られる意識を持っている事。自分の理想イメージ像を常に持ち、自分の為に研究する事です。 |
| 評価方法 | 実技試験 100% |
| 受講生への メッセージ | 魅力:芝居を通して言える事は、私たちと同じ人として生きており、そのキャラクターに心があるという事。そして貴方の大切な人生があると同じように作品の中で生きるキャラクターにも大切な人生があります。より繊細に考えるだけで魅力が増します。そう考えていく上で必要なのは、貴方自身の人間力が必要になります。ここでは技術を習得すると共に個人の人間力強化にも繋がります。なので習得したものはとにかく反復して自分のモノに出来ると必然に人間力も増していくので、反復を欠かさずやることをお勧めします。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | デビューアクティビティ (Debut Activity) | 必修 選択 | 必須 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 坂口 聡 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 水曜日・1限 |
| 【授業の学習内容】 卒業後の芸能活動を見つめ、今何をしなければいけないかを問い、情熱を持ち、自分の夢に邁進できるように授業を実施する為、下記を行う。 内容①基礎の確立(発声・発音・五十音の歌・外郎売)を用いて、世界に一つしか無い、声の確立を目指す。 内容②ストーリーの設定。どの角度からでもストーリー設定が出来る様に妄想、セピアではなく、カラーで考える力を養うよう学ぶ授業を行う。 内容③応用編。現場に出れば、対応力、応用力が必ず必要となる為、より実践に近い形での演劇を行う。 内容④和を大切に出来る人材教育。劇も映画も全て座組となる為、和の大切さを求められる。爪痕とも言うべき、何かを残そうと無謀な事を行う若者もいるが、和を乱さない事が大切である。その為、一人の演劇では無く、数人との掛け合いも行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 目標①声の確立 目標②あらゆる角度からの役の設定。考える力の向上。 目標③対応力、応用力は、単に芝居の上手、下手だけではない。コミュニケーション力と人(監督・演出家)の言う話を良く聞き、読解力が必要である。その為、コミュニケーション力が身につくレッスンをを行う。 目標④複数人と芝居を行う事で、自分が発する台詞よりも他人が発する台詞を受け取る難しさを学び、和を重んじる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 基礎(呼吸法・発声・発音・五十音の歌・外郎売)・感情解放 |
| 2回目 | 基礎(呼吸法・発声・発音・五十音の歌・外郎売)・響きチェック・感情解放 |
| 3回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(驚き) |
| 4回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(恐れる)・インプロ |
| 5回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(怒り)・インプロ |
| 6回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(悲しみ)・インプロ |
| 7回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(共感)・インプロ |
| 8回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(反感)・インプロ |
| 9回目 | 基礎・感情解放・情念的動作(愛情)・インプロ |
| 10回目 | 基礎・コミュニケーション力向上 |
| 11回目 | 基礎・セルフプロデュース |
| 12回目 | 基礎・インプロ |
| 13回目 | 基礎・映像演技と舞台演技の違い |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | 24時間/365日自分の将来像を形にする事を考える。そうすれば、空いている時間全てがレッスンとなる。そうしなければ、①～④の目標と達成には近づけない。 |
| 評価方法 | ■出席率(出るのが当たり前という考えではあるが、人間同士ぶつかる事もあるであろう)13回～15回×3倍 33点～35点 ■外郎売覚え 20点 5点を1回として4回当てる。 ■①～④理解度を確認するためのレポート提出 47点～45点 |
| 受講生への メッセージ | 演劇は、過去の自分と向き合い、受け入れ、克服し、未来の自分を創造しなければ行けません。辛く、苦しい旅路がスタートしました。演劇の神様は、たまに楽しい事も用意してくれます。自分の夢を信じて、レッスンを言い邁進して下さい。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 基礎練習プリント①～④配布しております。 | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|----------|----------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 (英) | デビューアクティビティ (Debut Activity) | 必修 選択 | 必須 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 坂口 聡 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | 曜日・時限 | 水曜日・1限 | | |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>前期では、演劇基礎がテーマでしたが、後期は卒業後を見据えた応用編が重要となります。</p> <p>内容①基礎・映像演技と舞台演技の違い 内容②基礎・映像演劇テレビCMとドラマ・映画の違い 内容③基礎・ドラマ演技と映画演技の違い 内容④想像力を養い自分達の物語を創り作品にする</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <p>■何々が出来るようになる。 ■「養う」などの具体的な出ないものはおやめください。</p> <p>目標①映像演技とは？映像演技とは？実践 目標②映像の中でもテレビCMとドラマ・映画の演技の違いについて実践 目標③ドラマ演技と映画演技の違いについて実践 目標④オリジナル作品を創る</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | 基礎・映像演技 |
| 2回目 | 基礎・舞台演技 |
| 3回目 | 基礎・映像演技 |
| 4回目 | 基礎・舞台演技 |
| 5回目 | 基礎・テレビCM |
| 6回目 | 基礎・ドラマ演技 |
| 7回目 | 基礎・テレビCM |
| 8回目 | 基礎・ドラマ演技 |
| 9回目 | 基礎・映画演技 |
| 10回目 | 基礎・自分達の作品創り |
| 11回目 | 基礎・自分達の作品創り |
| 12回目 | 基礎・自分達の作品創り |
| 13回目 | ミュージカル本番 |
| 14回目 | We are FSM 卒業進級制作 リハーサル |
| 15回目 | We are FSM 卒業進級制作 本番 |
| 準備学習 時間外 学習 | オリジナル作品を創るので、グループ分けしたメンバー同士で話し合いレッスンを行わなければならない |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率(出るのが当たり前という考えではあるが、人間同士がぶつかる事もあるであろう)13回～15回×3倍 33点～35点 ■外郎売覚え 20点 5点を1回として4回当てる。 ■④誰かの事を考え作品を創る 47点～45点 |
| 受講生への メッセージ | 誰かの事を考えてオリジナルの作品を創る。5分ぐらいで短いものでいい。でも誰かの一人を感動させる事が出来なければ、誰も感動させる事は出来ないのである。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| 演技レッスンプリント配布 | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|-------------|-------|----------|
| 科目名 (英) | メディアプロダクションプロジェクト (Media Production Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 田村勇樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科ネット動画タレント | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 90 (6) | 開講区分 | 前期 |
| | | | | | | 曜日・時間 | 木曜日2・3・4 |
| 【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) | | | | | | | |
| 【学習内容】 プロが使うソフトウェアを使用し、動画の作成を行います。また、YouTube投稿に必要な知識も学習します。 【実務経験】 講師紹介: PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 Adobe Premiere Proで動画を作成し、YouTubeで公開することができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---------|------------------------------|
| 1回目 | 講師紹介、授業の目的の共有、評価方法の説明 |
| 2回目 | プロジェクト設定を行い、シーケンスを理解することができる |
| 3回目 | ジャンプカットを活用することができる |
| 4回目 | レイヤーを理解して、キャプションを追加することができる |
| 5回目 | BGM、SEを活用することができる |
| 6回目 | 中間講評 |
| 7回目 | エフェクト(クロップ)を活用することができる |
| 8回目 | エフェクト(トランジション)を活用することができる |
| 9回目 | カラーグレーディングを活用することができる |
| 10回目 | タイムライン音量変化を活用することができる |
| 11回目 | 適切なメディア設定で、書き出しを行うことができる |
| 12回目 | YouTubeにアップロードすることができる |
| 13回目 | YouTubeにアップロードすることができる |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |

| | |
|----------------|--|
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■提出物の採点 |
| 受講生への メッセージ | しっかりと動画をコンスタントに作成できるように、基礎からしっかりと学んでいきましょう。 |

| |
|----------------|
| 【使用教科書・教材・参考書】 |
|----------------|

| | | | | | | | |
|--|---|----------|----|-------------|-------------|-------|----------|
| 科目名 (英) | メディアプロダクションプロジェクト (Media Production Project) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 田村勇樹 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科ネット動画タレント | 授業形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 90 (6) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時間 | 木曜日2・3・4 |
| 【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) | | | | | | | |
| 【学習内容】 プロが使うソフトウェアを使用し、動画の作成を行います。また、YouTube投稿に必要な知識も学習します。 【実務経験】 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野の開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 Adobe Premiere Proで動画を作成し、YouTubeで公開することができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 1回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 2回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 3回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 4回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 5回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 6回目 | 中間講評 |
| 7回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 8回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 9回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 10回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 11回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 12回目 | YouTubeにアップロードの為の作品制作 |
| 13回目 | 学期末発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | ■出席率 ■受講態度 ■提出物の採点 |
| 受講生への メッセージ | しっかりした動画をコンスタントに作成できるように、基礎からしっかりと学んでいきましょう。 |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|----------|
| 科目名 (英) | 映像編集技術 動画撮影制作 | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 渡邊 綾香 |
| | () | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 60 (4) | 開講区分 | 前期 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | | | | | 曜日・時限 | 火曜日1・2限目 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的にご記載ください。)</p> <p>教員は電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。</p> <p>著作権・契約・ITリテラシーの知識は動画・SNSなどの発信を行う者にとって、身を守る大切な知識である。 この科目ではビジネスにおけるクリエイティブリテラシーの基礎知識を習得していく。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権の基礎知識の習得 ・契約書の基礎知識の習得 ・ITリテラシー基礎知識の習得 ・開業届、確定申告など個人ビジネスの基礎知識の習得(後期) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ■講師挨拶／授業の概要と評価方法 講師の挨拶と授業の概要・この教科の評価方法について説明 |
| 2回目 | ■クリエイターの著作権(1) クリエイターが保有する代表的な著作権について理解を深め、自信の権利範囲を判断できるようになる。 |
| 3回目 | ■クリエイターの著作権(2) クリエイターが保有する代表的な著作権について理解を深め、自信の権利範囲を判断できるようになる。 |
| 4回目 | ■著作物を正しく利用する(1) 意図しない権利侵害をしないために、他社の著作権を尊重しながら素材を利用する方法を学び 素材を利用した作品作りを実践する。 |
| 5回目 | 著作物を正しく利用する(2) 意図しない権利侵害をしないために、他社の著作権を尊重しながら素材を利用する方法を学び 素材を利用した作品作りを実践する。 |
| 6回目 | ■契約書の基礎知識 不利益な契約を結ばないために、契約書の内容を理解し、契約内容を読み取れるようになる。 |
| 7回目 | ■契約書の交わり方 実際の契約書の交わり方や契約書の保管期限などについて理解を深める |
| 8回目 | ■契約締結体験(1) ここまでに学んだ契約書の知識を活用し、架空の契約書を作成、甲と乙に別れクラス内で取り交わしてみ る。記載内容について説明できるようになる。 |
| 9回目 | ■契約締結体験(2) ここまでに学んだ契約書の知識を活用し、架空の契約書を作成、甲と乙に別れクラス内で取り交わしてみ る。記載内容について説明できるようになる |
| 10回目 | ■実例から学ぶ著作物と契約書のトラブル 講師渡邊の経験をベースにしたトラブル実例と回避方法を知る。 |
| 11回目 | ■ITリテラシー基礎知識(1) SNSでトラブルを回避するため、必要なITリテラシーを身に着ける。 |
| 12回目 | ■ITリテラシー基礎知識(2) SNSでトラブルを回避するために必要なITリテラシーを身に着ける。 |
| 13回目 | ■ビジネスリテラシー 社会人に必要なビジネスマナーやビジネスITリテラシーの基本について学ぶ。 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | アンケート・授業態度・実技 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| Mac | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|----------|
| 科目名 (英) | 映像編集技術 動画撮影制作 | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 渡邊 綾香 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 60 (4) | 開講区分 | 講期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日1・2限目 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的にご記載ください。)</p> <p>教員は電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。</p> <p>著作権・契約・ITリテラシーの知識は動画・SNSなどの発信を行う者にとって、身を守る大切な知識である。 この科目ではビジネスにおけるクリエイティブリテラシーの基礎知識を習得していく。</p> | | | | | | | |
| <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権の基礎知識の習得 ・契約書の基礎知識の習得 ・ITリテラシー基礎知識の習得 ・開業届、確定申告など個人ビジネスの基礎知識の習得(後期) | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------|---|
| 1回目 | ■授業の概要・この教科の評価方法について説明 |
| 2回目 | ■クリエイターの著作権(3) クリエイターが保有する代表的な著作権について理解を深め、自信の権利範囲を判断できるようになる。 |
| 3回目 | ■クリエイターの著作権(4) クリエイターが保有する代表的な著作権について理解を深め、自信の権利範囲を判断できるようになる。 |
| 4回目 | ■著作物を正しく利用する(3) 意図しない権利侵害をしないために、他社の著作権を尊重しながら素材を利用する方法を学び 素材を利用した作品作りを実践する。 |
| 5回目 | 著作物を正しく利用する(4) 意図しない権利侵害をしないために、他社の著作権を尊重しながら素材を利用する方法を学び 素材を利用した作品作りを実践する。 |
| 6回目 | ■契約書の応用知識 不利益な契約を結ばないために、契約書の内容を理解し、契約内容を読み取れるようになる。 |
| 7回目 | ■契約書の交わり方 実際の契約書の交わり方や契約書の保管期限などについて理解を深める |
| 8回目 | ■映像編集作品制作 |
| 9回目 | ■映像編集作品制作 |
| 10回目 | ■映像編集作品制作 |
| 11回目 | ■映像編集作品制作 |
| 12回目 | ■映像編集作品制作 |
| 13回目 | ■映像作品発表 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学 習 | |
| 評価方法 | アンケート・授業態度・実技 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| Mac | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|----------|----------|-------------|-------------|---------------|--------------|
| 科目名 (英) | 舞台演技 (Stage Acting) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1・2年 | 担当教員 | 飯野 智子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 曜日・時限 | 前期 火曜日・5限 |
| 【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的にご記載ください。) ○役者として、自分がどんな人間なのかを理解し、自分の体や中身(弱さなど)を知る。 手を知る。協力して舞台を作り上げるための仲間とのコミュニケーション。 ○人前に立つ意識。楽しさ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ○体と心(感情)のコントロールが出来るようになる ○自分を知り、相手を知る事で舞台上で立っている自分が客観的に見えるようになる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|--|
| 1回目 | 自己紹介 舞台に必要な事 (発声・ウォーミングアップ) …お互いを知る、舞台とは |
| 2回目 | 自分と相手を知るWS (発声・ウォーミングアップ) … 自分を掘り下げて相手に伝える |
| 3回目 | 空間の使い方 (発声・ウォーミングアップ) … 舞台空間の使い方やミザンスの説明やWS |
| 4回目 | モノになってみる モノの気持ち … 人間ではないのモノ(生きてないのモノ)の気持ちを考える |
| 5回目 | 呼吸使い方 |
| 6回目 | 身体と呼吸の使い方 |
| 7回目 | CM作り … 一瞬で創作する(アイデアの出し方、動きのつけ方、人に見てもらうためのもの) |
| 8回目 | 物語も作ってみる①(シチュエーション・エチュード) |
| 9回目 | 物語を作ってみる②(シチュエーション・エチュード) |
| 10回目 | 物語も作ってみる③(シチュエーション・エチュード) |
| 11回目 | 喜怒哀楽、感情とは |
| 12回目 | 喜怒哀楽、感情とは |
| 13回目 | 感情開放 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------|
| 科目名 (英) | 舞台演技 (Stage Acting) | 必修 選択 | 必修 選択 | 年次 | 1・2年 | 担当教員 | 飯野 智子 |
| 学科・コース | ダンス&アクターズ科 | 授業 形態 | 演習 | 総時間 (単位) | 30 (2) | 開講区分 | 後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜日・5限 |
| 【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的にご記載ください。) ○役者として、自分がどんな人間なのかを理解し、自分の体や中身(弱さなど)を知る。 手を知る。協力して舞台を作り上げるための仲間とのコミュニケーション。 ○人前に立つ意識。楽しさ。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ○体と心(感情)のコントロールが出来るようになる ○自分を知り、相手を知る事で舞台上で立っている自分が客観的に見えるようになる | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|--|
| 1回目 | CM作り … 一瞬で創作する(アイデアの出し方、動きのつけ方、人に見てもらうためのもの) |
| 2回目 | CM作り … 一瞬で創作する(アイデアの出し方、動きのつけ方、人に見てもらうためのもの) |
| 3回目 | CM作り … 一瞬で創作する(アイデアの出し方、動きのつけ方、人に見てもらうためのもの) |
| 4回目 | CM作り … 一瞬で創作する(アイデアの出し方、動きのつけ方、人に見てもらうためのもの) |
| 5回目 | 物語も作ってみる①(シチュエーション・エチュード) |
| 6回目 | 物語を作ってみる②(シチュエーション・エチュード) |
| 7回目 | 物語を作ってみる③(シチュエーション・エチュード) |
| 8回目 | 物語を作ってみる④(シチュエーション・エチュード) |
| 9回目 | 物語を作ってみる⑤(シチュエーション・エチュード) |
| 10回目 | 物語を作ってみる⑥(シチュエーション・エチュード) |
| 11回目 | 喜怒哀楽、感情を使った作品制作 |
| 12回目 | 喜怒哀楽、感情を使った作品制作 |
| 13回目 | 喜怒哀楽、感情を使った作品制作 |
| 14回目 | 9月特別授業 |
| 15回目 | 9月特別授業 |
| 準備学習 時間外学習 | |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |